

収益力の回復

ナノファイバー開発の加速による競争力強化

ヤマシンフィルタ株式会社

2023年3月期第2四半期

決算説明資料

2022年11月18日

- 中国ロックダウン・海上輸送費の高止まり・原材料費高騰・急激な円安の影響など様々な要因により減収減益の一方、価格転嫁と原価改善により収益力は着実に改善

建機用フィルタ事業（事業環境）

市場

日本

北米

欧州

アジア

中国

建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移 **低調**

物流コスト・原材料価格

為替

高騰

円安が進行

エアフィルタ事業（事業環境）

オフィスビル等の交換需要は回復傾向

CO₂削減や産業廃棄物削減といった環境課題のもと

当社のビジネス拡大機会が到来

2023年3月期
第2四半期
実績

連結売上高：**91億23百万円**

前年同期比：**4.5%減収**

連結営業利益：**5億21百万円**

前年同期比：**41.3%減益**

※自己資本比率：**78.6%**

建機用フィルタ

前年同期比 5.4%減収 78億52百万円

建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移するも、中国市場におけるロックダウンの影響大

エアフィルタ

前年同期比 1.5%増収 12億70百万円

経済活動の回復に伴いビル空調用フィルタ需要は回復傾向にあり、前年並み

- 建機市場は引き続き堅調に推移
- 価格転嫁による収益改善が見込まれ、通期の業績見通しを上方修正

2023年
3月期
通期見通し

連結売上高：192億30百万円

前回公表値比：8.0%増収

連結営業利益：13億80百万円 (7.2%)

前回公表値比：97.1%増益

EPS 11.9円 ROIC 3.8%

建機用フィルタ

前回公表値比：10.2%増収
165億30百万円

建機の稼働時間と新車需要は中国以外の地域で堅調に推移、
価格転嫁推進により収益改善見通し

エアフィルタ

前回公表値比：3.6%減収 27億円

原価改善、価格転嫁推進により収益改善見通し

営業力のさらなる強化

- **建機用フィルタ事業：**
堅調な事業環境を活かし事業を推進
 - ◆ 新素材ナノファイバーやIoT技術を活かした高付加価値フィルタ製品の採用拡大
 - ◆ 2022年4月から開始されたYAMASHIN Nano Filter®素材のフィルタ販売を推進
 - ◆ 建機フィルタ技術の他分野への応用
- **エアフィルタ事業：**
新製品NanoWHELP®による新規シェア獲得
- **SDGsへの取り組みと**
事業ポートフォリオ拡大を両立
YAMASHIN Nano Filter®の
産業資材としての市場領域の拡大

利益改善の取り組み

- **建機用フィルタ事業：**
激変する外部環境への対応
顧客への価格転嫁推進
 - ◆ 原材料価格及び物流コスト高騰への対策として顧客への価格転嫁を実施
- **バリューチェーンの再編・強化**
 - ◆ 主要原材料の調達安定化
 - ◆ YVC（ベトナム工場）の稼働によるサプライチェーン見直しを開始
- **為替変動への対応策**
 - ◆ 急激な為替変動に対する積極的なデリバティブ取引等の活用による業績影響の軽減を図る
- **エアフィルタ事業：**
生産性向上による収益改善を図る

I

2023年3月期第2四半期実績及び2023年3月期通期見通し

P5

II

市場を取り巻く環境

P32

III

今後の戦略

P46

決算

I 2023年3月期第2四半期実績及び 2023年3月期通期見通し

2023年3月期 第2四半期業績 (2022年7月-9月)

	2022/3期 Q2 実績		2023/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	
売上高	4,870	4,953	82	1.7%		
建機用フィルタ*	4,256	4,319	63	1.5%		
エアフィルタ	613	633	19	3.2%		
営業利益 (セグメント利益)	546	427	△119	△21.8%		
建機用フィルタ*	583	423	△160	△27.4%		
エアフィルタ	△37	3	40	—		
営業利益率	11.2%	8.6%	△2.6Pt			
経常利益	541	400	△140	△26.0%		
経常利益率	11.1%	8.1%	△3.0Pt			
四半期純利益	120	259	138	115.6%		
四半期純利益率	2.5%	5.2%	2.8Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	109.8	133.9	24.2	22.0%	
	EUR	130.9	138.7	7.8	6.0%	

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2022/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。

(単位：百万円)

	2022/3期 末	2023/3期 Q2末	増減額	増減率
流動資産	13,964	13,999	34	0.2%
現金及び預金	3,750	3,970	219	5.9%
受取手形及び売掛金	4,696	4,653	△ 42	△ 0.9%
棚卸資産	4,775	5,102	327	6.8%
その他	742	272	△ 469	△ 63.3%
固定資産	12,747	12,610	△ 137	△ 1.1%
有形固定資産	11,609	11,594	△ 15	△ 0.1%
無形固定資産	236	177	△ 58	△ 24.9%
投資その他資産	901	838	△ 63	△ 7.0%
資産合計	26,712	26,609	△ 102	△ 0.4%

	2022/3期 末	2023/3期 Q2末	増減額	増減率
流動負債	4,634	4,397	△ 236	△ 5.1%
支払手形及び買掛金	2,213	1,563	△ 650	△ 29.4%
短期借入金及び 1年内返済予定 長期借入金	403	1,603	1,200	297.5%
その他	2,016	1,230	△ 786	△ 39.0%
固定負債	1,506	1,287	△ 219	△ 14.6%
長期借入金	1,126	924	△ 201	△ 17.9%
退職給付に係る負債	232	237	4	1.9%
その他	147	125	△ 22	△ 15.1%
純資産合計	20,571	20,924	353	1.7%
負債・純資産合計	26,712	26,609	△ 102	△ 0.4%

*自己資本比率 77.0% 78.6%

	2022/3期 Q2 実績	2023/3期 Q2 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ	3,737	3,895	157	4.2%
ライン品	1,296	1,463	167	12.9%
補給品	2,441	2,431	△9	△0.4%
産業用フィルタ※1	276	198	△78	△28.3%
プロセス用フィルタ	242	226	△16	△6.7%
建機用フィルタ 合計	4,256	4,319	63	1.5%
エアフィルタ	613	633	19	3.2%
売上高合計	4,870	4,953	82	1.7%

※1 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2022/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

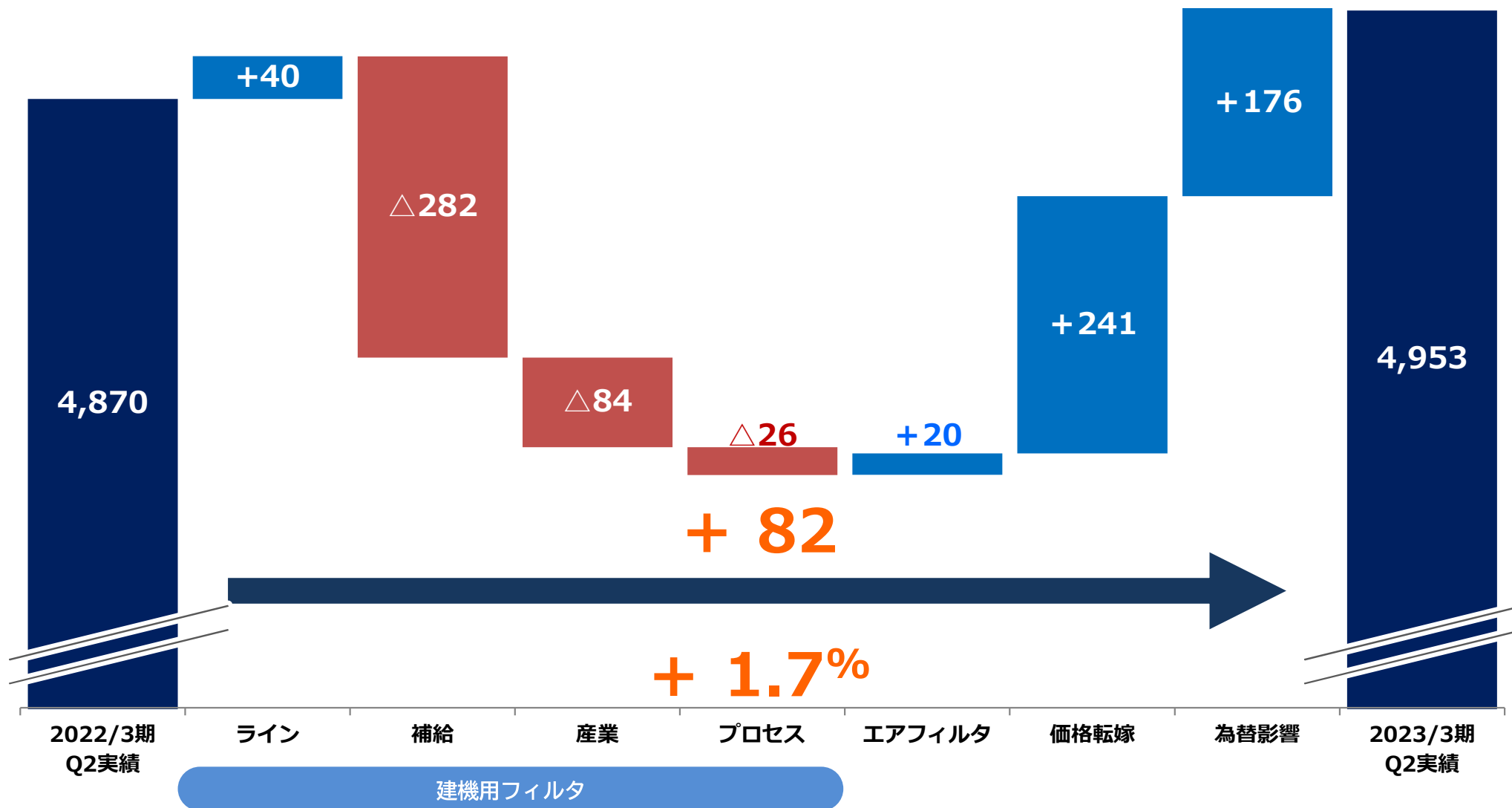
	2022/3期 Q2 実績		2023/3期 Q2 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※1※2	4,256	87.4%	4,319	87.2%	63	1.5%
国内	2,013	41.3%	2,123	42.9%	110	5.5%
北米	904	18.6%	980	19.8%	76	8.4%
中国	379	7.8%	356	7.2%	△23	△6.1%
アジア	553	11.4%	408	8.2%	△144	△26.2%
欧州	406	8.4%	449	9.1%	42	10.4%
その他（中東他）	-	0.0%	1	0.0%	1	-
エアフィルタ（国内）	613	12.6%	633	12.8%	19	3.2%
売上高合計	4,870	100.0%	4,953	100.0%	82	1.7%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2022/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)



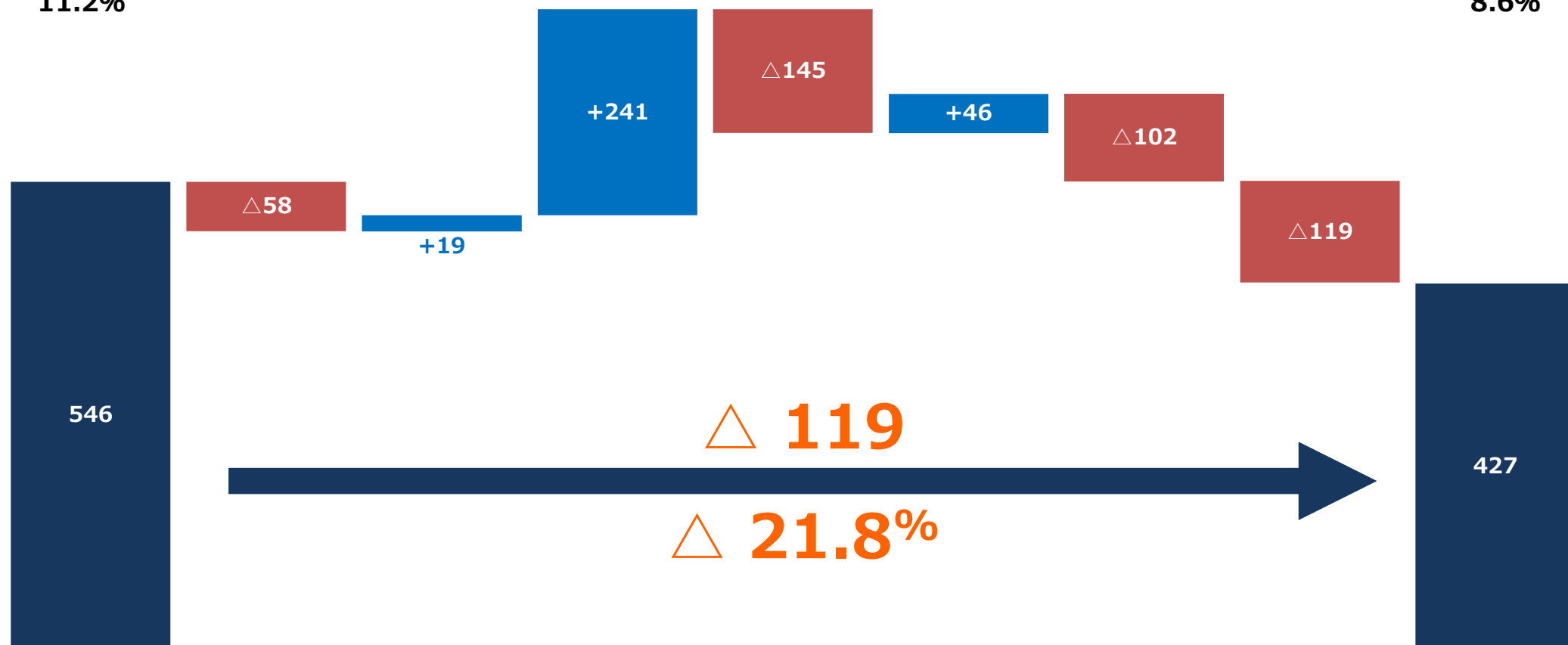
* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

営業利益の増減要因 (2022/7-9)

(単位：百万円)

営業利益率
11.2%

営業利益率
8.6%



営業利益
2022/3期
Q2実績

[建機]
販売減少
に伴う減益

[エアフィルタ]
売上増加及び
原価改善
に伴う増益

[建機]
価格転嫁
に伴う増加

[建機]
海上輸送費増加
に伴う減益

[建機]
航空運賃減少
に伴う増益

[建機]
材料費高騰
に伴う減益

為替影響

営業利益
2023/3期
Q2実績

2023年3月期 第2四半期 累計業績 (2022年4月-9月)

	2022/3期 Q2累計 実績		2023/3期 Q2累計 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	
売上高	9,556	9,123	△433	△4.5%		
建機用フィルタ*	8,304	7,852	△451	△5.4%		
エアフィルタ	1,251	1,270	18	1.5%		
営業利益 (セグメント利益)	887	521	△366	△41.3%		
建機用フィルタ*	951	516	△434	△45.7%		
エアフィルタ	△63	4	68	—		
営業利益率	9.3%	5.7%	△3.6Pt			
経常利益	876	458	△417	△47.7%		
経常利益率	9.2%	5.0%	△4.1Pt			
四半期純利益	328	271	△57	△17.4%		
四半期純利益率	3.4%	3.0%	△0.5Pt			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	109.8	133.9	24.2	22.0%	
	EUR	130.9	138.7	7.8	6.0%	

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

* ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2022/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 2022/3期の営業利益については、全社費用として別掲していた本社及び子会社の管理部門の一般管理費等の費用について、各セグメントの営業利益に含めております。

	2022/3期 Q2累計 実績	2023/3期 Q2累計 実績	前年同期比	
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※1	7,172	7,032	△140	△2.0%
ライン品	2,785	2,763	△22	△0.8%
補給品	4,387	4,268	△118	△2.7%
産業用フィルタ	701	383	△317	△45.3%
プロセス用フィルタ	430	437	6	1.6%
建機用フィルタ 合計	8,304	7,852	△451	△5.4%
エアフィルタ	1,251	1,270	18	1.5%
売上高合計	9,556	9,123	△433	△4.5%

※1 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2022/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

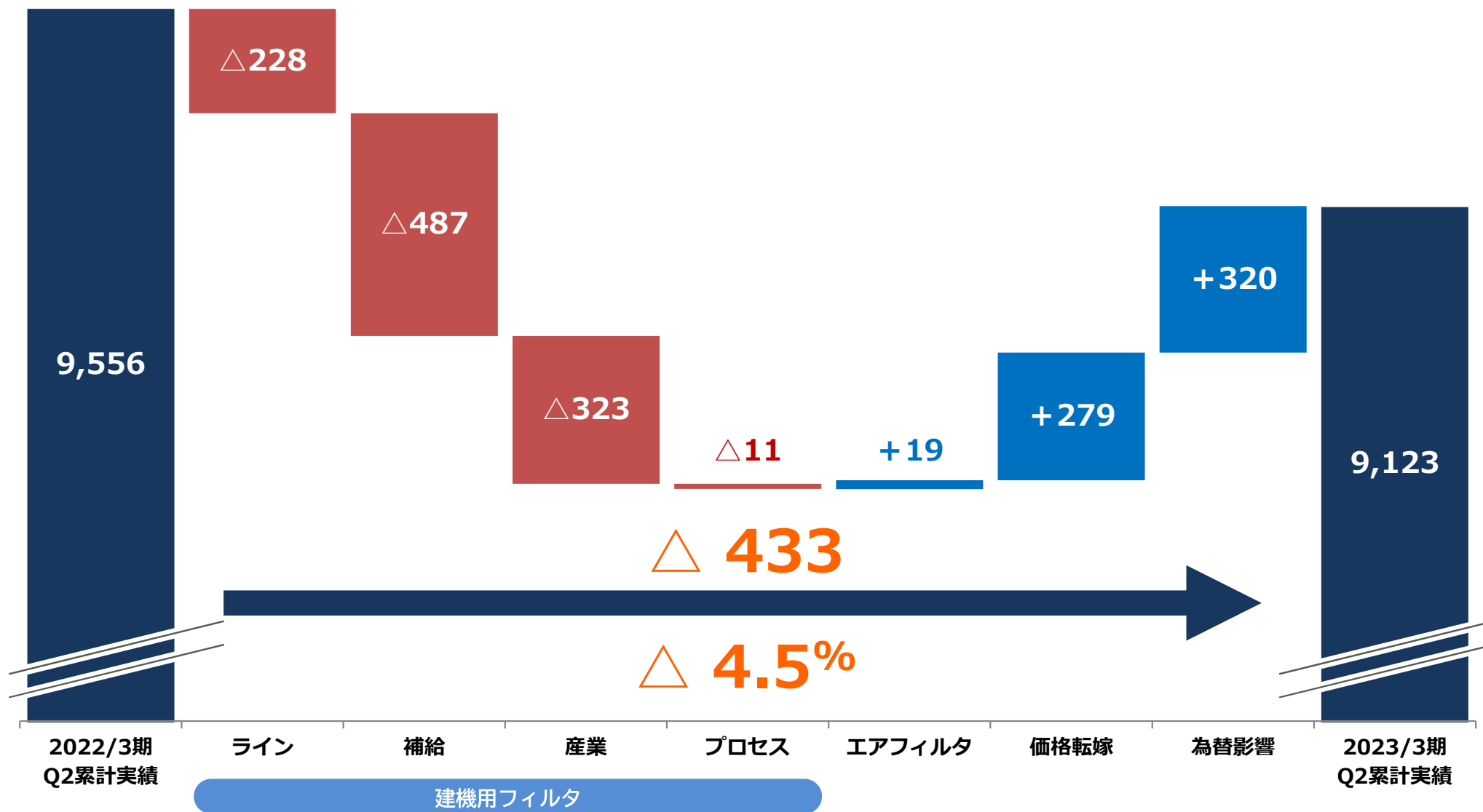
	2022/3期 Q2累計 実績		2023/3期 Q2累計 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※1※2	8,304	86.9%	7,852	86.1%	△451	△5.4%
国内	4,037	42.3%	3,964	43.5%	△73	△1.8%
北米	1,590	16.6%	1,640	18.0%	49	3.1%
中国	944	9.9%	624	6.9%	△319	△33.8%
アジア	918	9.6%	743	8.1%	△174	△19.1%
欧州	812	8.5%	875	9.6%	63	7.8%
その他（中東他）	1	0.0%	3	0.0%	2	237.8%
エアフィルタ（国内）	1,251	13.1%	1,270	13.9%	18	1.5%
売上高合計	9,556	100.0%	9,123	100.0%	△433	△4.5%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、2022/3期から建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)



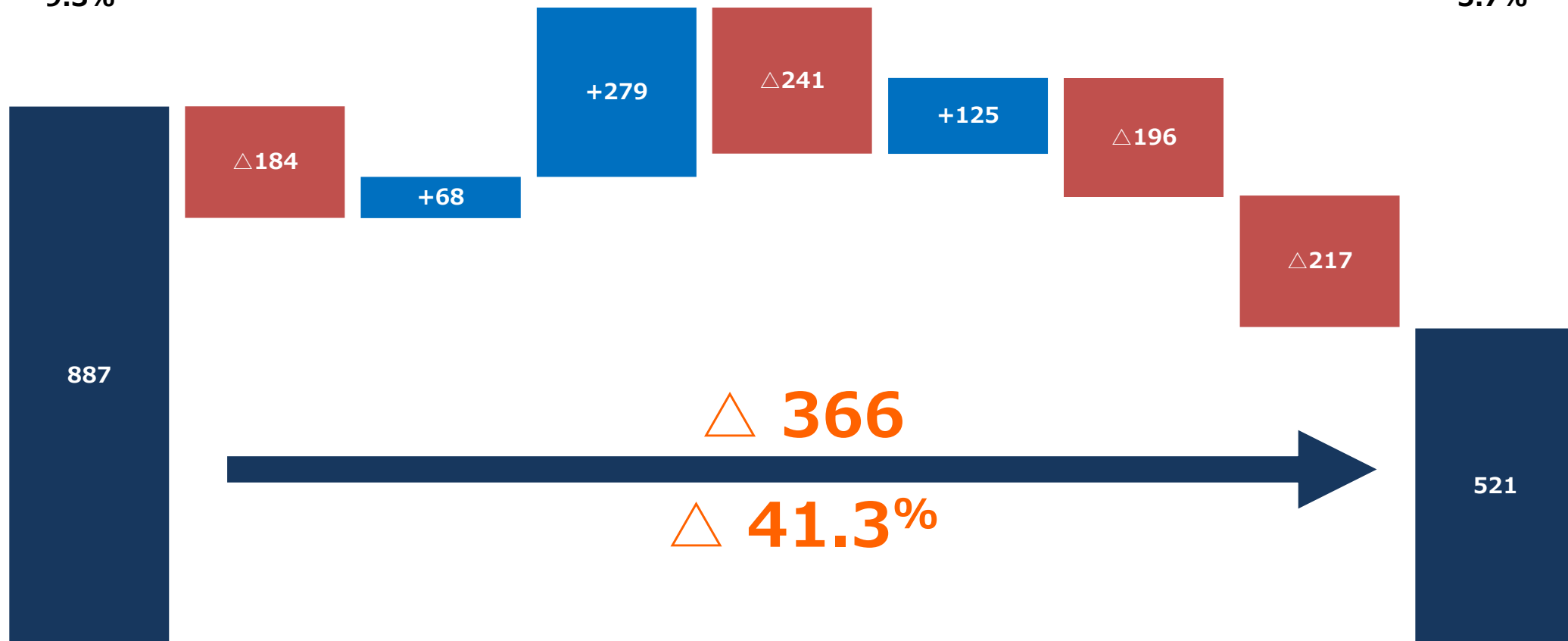
* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

営業利益の増減要因 (2022/4-9)

(単位：百万円)

営業利益率
9.3%

営業利益率
5.7%



営業利益
2022/3期
Q2累計実績

[建機]
販売減少
に伴う減益

[エアフィルタ]
売上増加及び
原価改善
に伴う増益

[建機]
価格転嫁
に伴う増加

[建機]
海上輸送費増加
に伴う減益

[建機]
航空運賃減少
に伴う増益

[建機]
材料費高騰
に伴う減益

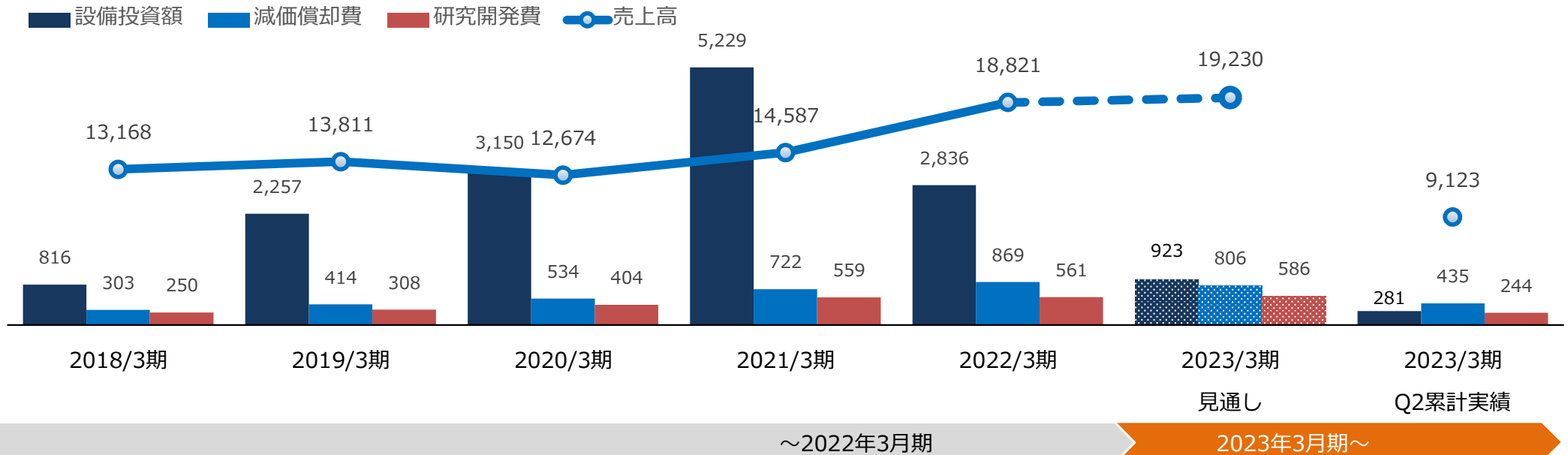
為替影響

営業利益
2023/3期
Q2累計実績

設備投資額、減価償却費及び研究開発費推移

単位 百万円	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	2023年3月期 見通し	2023年3月期 Q2累計 実績
売上高	13,168	13,811	12,674	14,587	18,821	19,230	9,123
設備投資額	816	2,257	3,150	5,229	2,836	923	281
土地・建物	—	1,588	2,682	3,194	1,488	67	33
その他設備投資	816	669	468	2,036	1,347	855	247
売上高比率	6.2%	16.3%	24.9%	35.9%	15.1%	4.8%	3.1%
減価償却費	303	414	534	722	869	806	435
売上高比率	2.3%	3.0%	4.2%	5.0%	4.6%	4.2%	4.8%
研究開発費	250	308	404	559	561	586	244
売上高比率	1.9%	2.2%	3.2%	3.8%	3.0%	3.1%	2.7%

売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

PAC22

Promptly
迅速

Activated
かつ効果的な

Cost reduction
コスト削減計画

20

22

■削減目標・実績金額

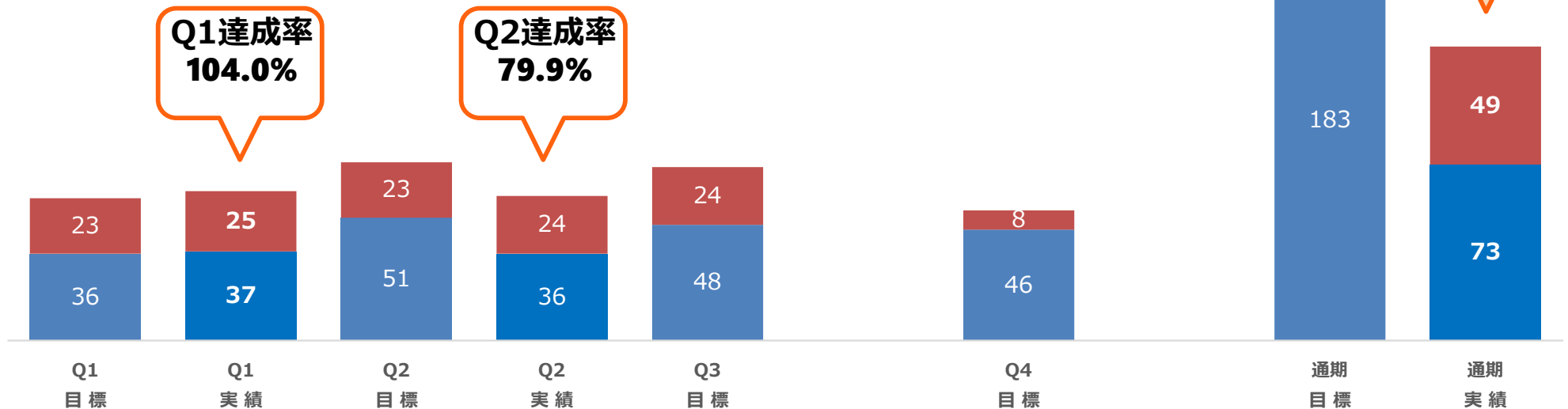
単位：百万円

		Q1 目標	Q1 実績	Q2 目標	Q2 実績	Q3 目標	Q4 目標	通期 目標
PAC22	製造原価	36	37	51	36	48	46	183
	販管費	23	25	23	24	24	8	80
合計		60	62	75	60	72	54	263

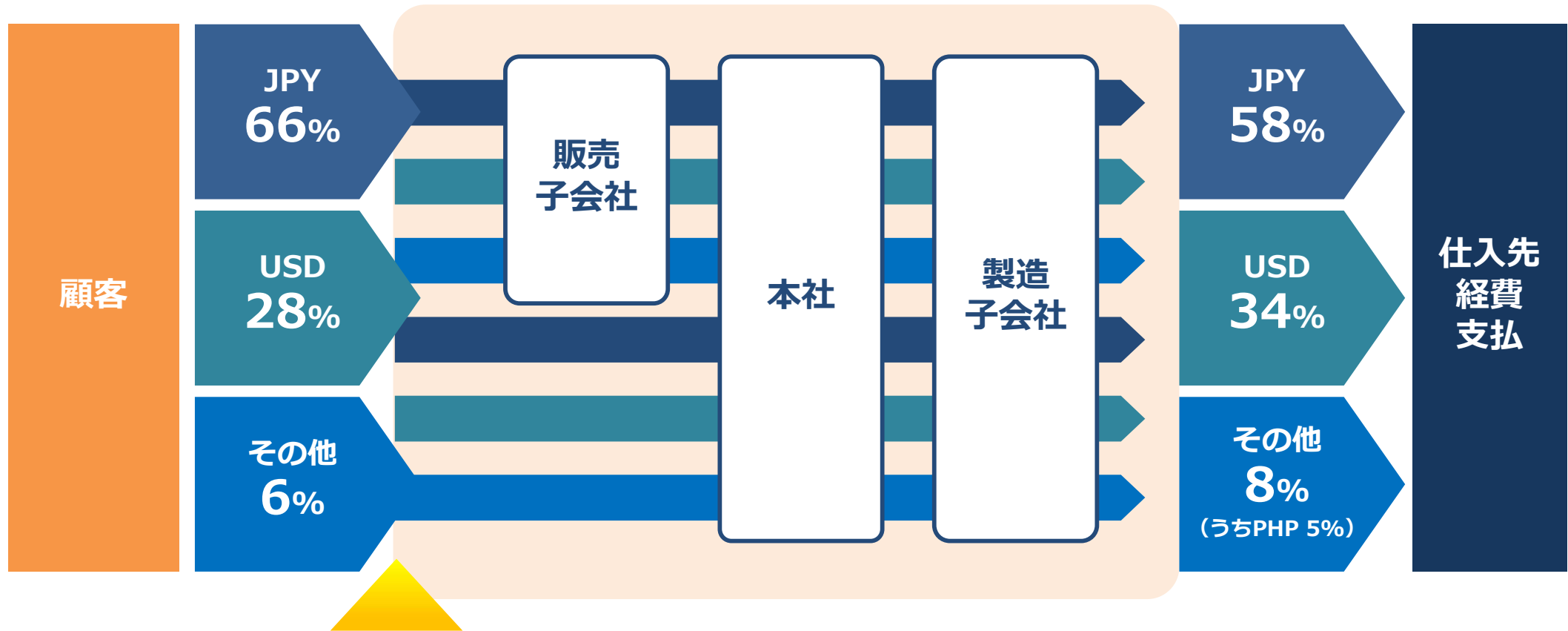
■進捗状況

(単位：百万円)

■ 製造原価 ■ 販管費



急激な円安進行により約217百万円の営業利益へのマイナス影響



取引通貨の7割はJPY

- 為替が1円円安になった場合の営業利益影響額は約9百万円減益
- 決済通貨見直しによる為替マリー強化、
為替予約等により営業利益のマイナス影響低減を図る

管理部門にとどまらず、現場にまで
企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

MAVY'sの全体像と責任部署 (2023/3期)

Key Goal Indicator (KGI)

※KPI算定の前提

Prv : 2022/3期 年間実績値
Cur : 2023/3期 修正予算値

Key Performance Indicator (KPI)

Key Success Factor (CFS)

責任部署

23.3期部門目標 (action plan)

23.3期進捗

売上高営業利益率
Prv: 7.1%
Cur: 7.2%

売上総利益率
Prv: 40.4%
Cur: 39.8%

売上高伸長率
Prv: 29.0%
Cur: 2.2%

新製品開発
純正率向上

営業・開発

- ・建機:主要顧客シェア拡大(ロングライフ、センサ)
- ・建機:中国企業への参入拡大・加速
- ・エアフィルタ:新製品(NanoWhelp)による販売拡大(直販、国内外)
- ・新規事業領域への進出

- ・ハイブリッドフィルタの各社提案進展
- ・中国系建機メーカー向け新機種採用実績向
- ・エアフィルタ新製品販売進展
- ・アパレル業界向け供給継続進展(脱ダウン)

売上原価率
Prv: 59.6%
Cur: 60.2%

購買力強化
歩留り改善

生産・SCM

- ・PAC22
- ・購買力強化、物流コスト低減
- ・生産管理の改善

- ・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了
- ・共通購買(アクション)による調達コスト削減
- ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展

減価償却費率
Prv: 4.6%
Cur: 4.2%

投資計画

経営企画
財務経理

- ・M&A(収益拡大・経営安定化手段)
- M&A先企業の情報収集
- 不織布事業体買収(下流)
- 新素材開発企業買収(上流)

- ・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等)

管費率
Prv: 33.3%
Cur: 32.7%

研究開発費率
Prv: 3.0%
Cur: 3.1%

テーマの絞り込み
優先順位

開発

- ・新素材の開発(リサイクル、バイオマス等)
- ・IoTの取り組み
- ・エアレーション他技術開発

- ・ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速
- ・各得意先各種センサー試験品供給
- ・産学連携による新素材開発の加速

人件費率
Prv: 13.7%
Cur: 14.4%

最適な人員構成

人事・総務

- ・タレントマネジメント制度策定・運用

- ・次世代マネジメント層の発掘
- ・製品開発に向けた研究要員の増員
- ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用

売上債権回転率
Prv: 4.2
Cur: 3.9

債権管理

営業
財務経理

- ・債権回収率の改善
- ・ペーパレス化推進

- ・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応

運転資本回転率
Prv: 3.1
Cur: 2.8

棚卸資産回転率
Prv: 4.8
Cur: 4.4

適正在庫の設定

生産
営業

- ・全社棚卸資産の圧縮

- ・棚卸資産のバレット分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中

仕入債務回転率
Prv: 4.8
Cur: 5.0

債務管理

SCM
生産

- ・ワーキングキャピタル改善
- ・ペーパレス化推進

- ・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化

投下資本回転率
Prv: 0.9
Cur: 0.8

固定資産回転率
Prv: 1.5
Cur: 1.4

有形固定資産回転率
Prv: 1.7
Cur: 1.6

設備計画
(R&D・生産)

経営企画
総務・生産・開発

- ・投資回収効果最適化

- ・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行

無形固定資産回転率
Prv: 66.4
Cur: 85.2

投資計画

経営企画
財務経理

- ・知財戦略の策定とアクションプランの作成

- ・戦略の作成と行動計画の立案及び関係者への研修強化
- ・中国市場での積極的の特許出願

MAVY's
Prv: -0.6%
Cur: -1.5%

ROIC
Prv: 4.7%
Cur: 3.8%

WACC
Prv: 5.3%
Cur: 5.3%

ROE
Prv: 0.2%
Cur: 4.1%

ROA
Prv: 0.2%
Cur: 3.1%

2023年3月期 通期業績見通し

建機用フィルタ事業

- 中国市場の低迷により新車の販売台数は前年度を下回る一方、日本、北米、欧州、アジア市場における建設機械市場の需要は、引き続き堅調に推移する見通し
- 物流コストや資材価格の高騰については依然として先行き不透明な状況が継続、原価低減活動の継続に加え、価格転嫁を実行
- サプライチェーンの見直しや生産地移管による安定した生産供給体制の構築及び為替や原材料調達の安定化を図り、収益性の改善に努める

エアフィルタ事業

- 既存製品の交換需要の回復及び、ナノファイバー製エアフィルタをはじめとした高付加価値製品の展開により、オフィスビルや工場、鉄道車両等への採用に向けた取り組み進展
- 生産効率の向上や経費削減を徹底し収益改善を図る

ヘルスケア事業：

家庭用マスク市場において、販売量の減少が見込まれる中でも営業利益の確保が図れる体制を構築

連結上の収益に与える影響額は極めて軽微であることから、
2023年3月期は建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示

		2022/3期	2023/3期	2023/3期	期初予算比
		実績 (百万円)	期初予算 (百万円)	修正予算 (百万円)	(百万円)
売上高		18,821	17,800	19,230	1,430
	建機用フィルタ※	16,244	15,000	16,530	1,530
	エアフィルタ	2,577	2,800	2,700	△100
営業利益		1,344	700	1,380	680
	建機用フィルタ※	1,467	660	1,300	640
	エアフィルタ	△123	40	80	40
営業利益率		7.1%	3.9%	7.2%	3.2Pt
経常利益		1,317	650	1,240	590
経常利益率		7.0%	3.7%	6.4%	2.8Pt
当期純利益		47	458	855	397
当期純利益率		0.3%	2.6%	4.4%	1.9Pt
為替レート (円)	USD	112.4	122.0	145.0	18.9%
	EUR	130.6	137.0	144.0	5.1%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

	2022/3期 実績		2023/3期 期初予算		2023/3期 修正予算		期初予算比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	14,169	75.3%	13,273	74.6%	14,807	77.0%	1,533	11.6%
ライン品	5,633	29.9%	5,733	32.2%	6,401	33.3%	667	11.6%
補給品	8,536	45.4%	7,539	42.4%	8,405	43.7%	866	11.5%
産業用フィルタ※1	1,174	6.2%	653	3.7%	772	4.0%	118	18.1%
プロセス用フィルタ	900	4.8%	1,072	6.0%	950	4.9%	△122	△11.4%
建機用フィルタ 合計	16,244	86.3%	15,000	84.3%	16,530	86.0%	1,530	10.2%
エアフィルタ	2,577	13.7%	2,800	15.7%	2,700	14.0%	△100	△3.6%
売上高合計	18,821	100.0%	17,800	100.0%	19,230	100.0%	1,430	8.0%

※1 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

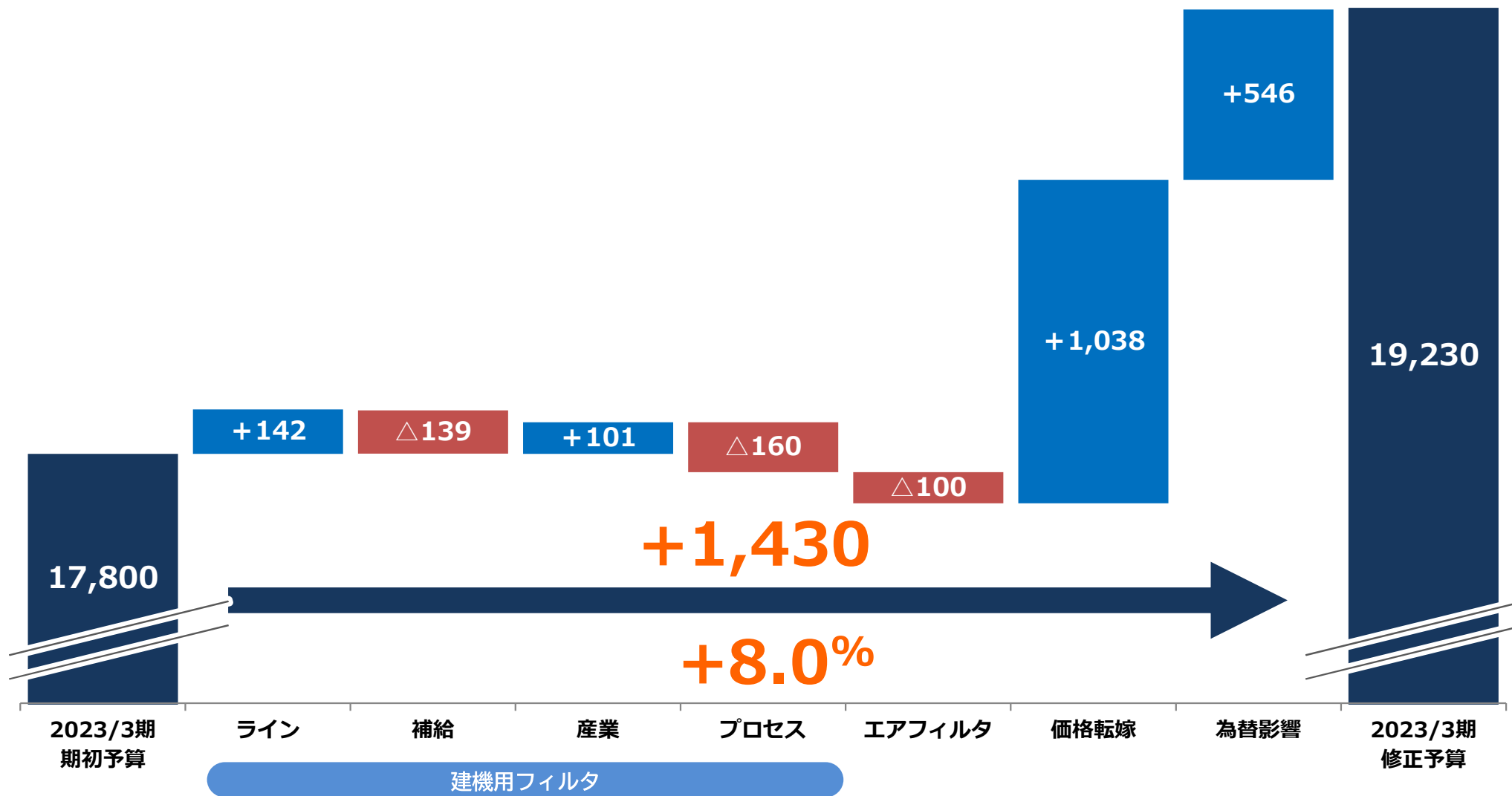
	2022/3期 実績		2023/3期 期初予算		2023/3期 修正予算		期初予算比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ ※1※2	16,244	86.3%	15,000	84.3%	16,530	86.0%	1,530	10.2%
国内	7,946	42.2%	7,079	39.8%	8,141	42.3%	1,062	15.0%
北米	2,939	15.6%	3,135	17.6%	3,680	19.1%	545	17.4%
中国	1,711	9.1%	1,507	8.5%	1,470	7.6%	△36	△2.4%
アジア	1,889	10.0%	1,902	10.7%	1,707	8.9%	△194	△10.2%
欧州	1,755	9.3%	1,371	7.7%	1,477	7.7%	106	7.8%
その他 (中東他)	2	0.0%	5	0.0%	52	0.3%	46	890.5%
エアフィルタ (国内)	2,577	13.7%	2,800	15.7%	2,700	14.0%	△100	△3.6%
売上高合計	18,821	100.0%	17,800	100.0%	19,230	100.0%	1,430	8.0%

※1 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

※2 ヘルスケア事業については、当社の業績に与える影響度合いを考慮し、建機用フィルタ事業の製品群に含めて開示しております。

* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

(単位：百万円)

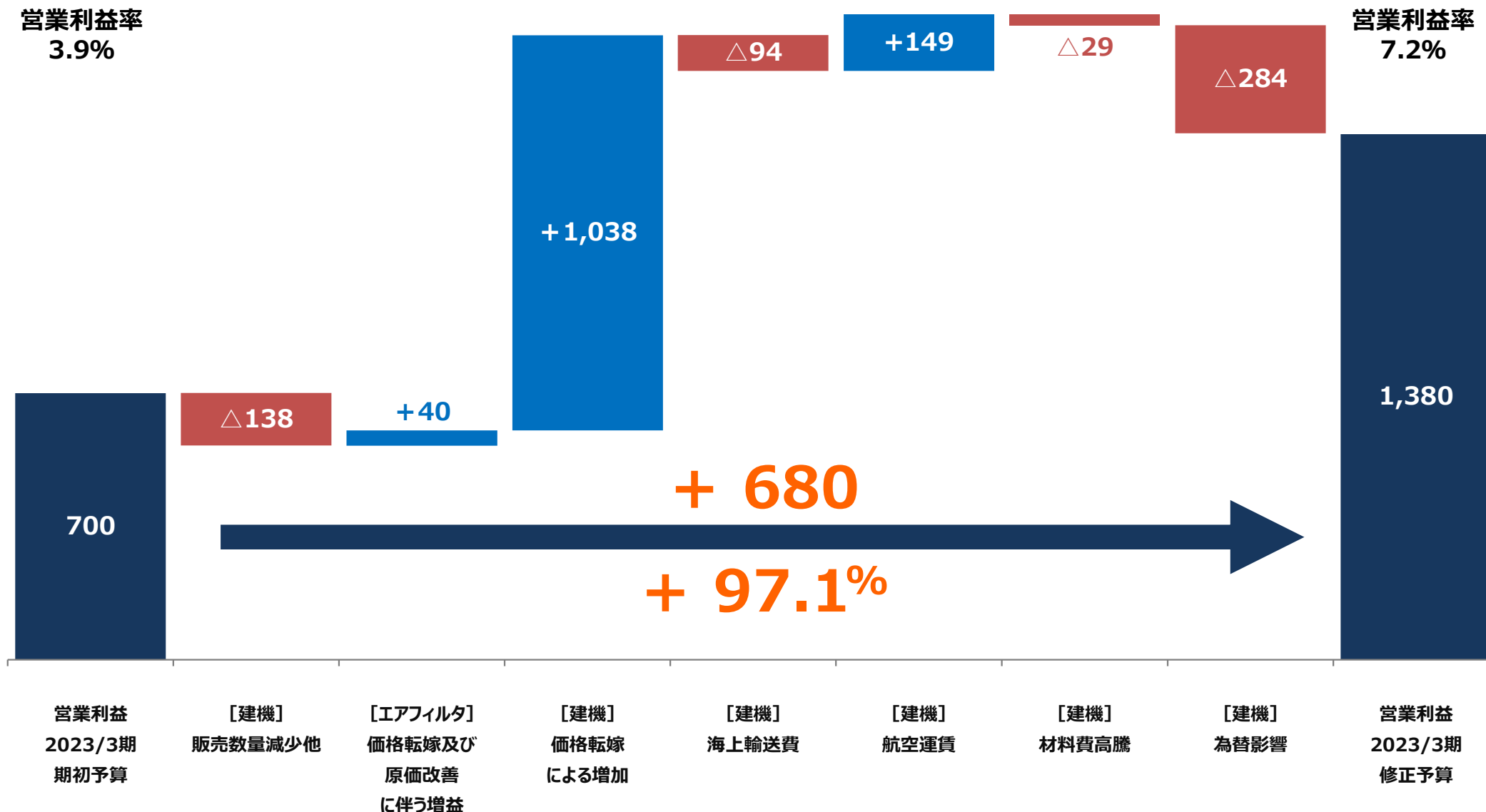


* 「産業」には、ヘルスケア製品群を含めております。

(単位：百万円)

営業利益率
3.9%

営業利益率
7.2%



中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期 修正予算
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
DOE^{※1}	2.3%	2.2%	2.1%	2.1%
総還元性向^{※2}	72.3%	59.3%	960.4%	57.1%

※1 DOE（株主資本配当率） = (年間配当総額 ÷ 株主資本) × 100 = (ROE × 配当性向)

※2 総還元性向 = {(配当金総額 + 株主優待 + 自己株式取得) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益} × 100

思

Ⅱ 市場を取り巻く環境

“建機市場を取り巻く環境”

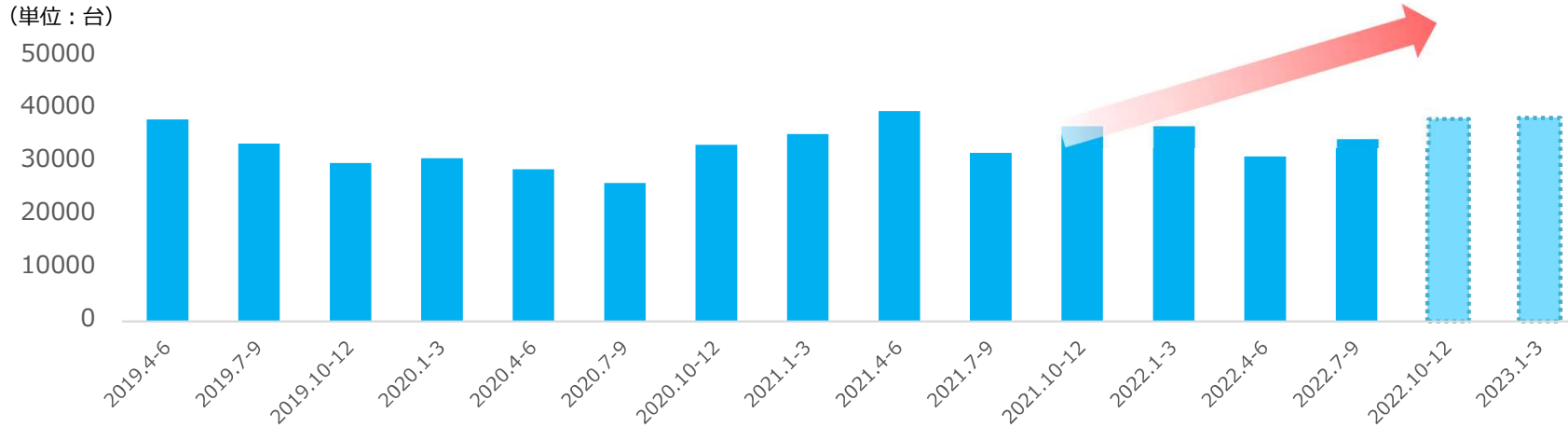
- 中国除く主要市場（特に北米・アジア）において、第2四半期の需要は高水準で推移
- 半導体等の部品供給不足、物流コスト高騰、原材料価格高騰等の課題は継続
- 為替リスクなど新たな懸念材料があるも、需要は堅調を維持

	2023/3 Q1	2023/3 Q2	今後の見通し
日本	建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移 海上輸送費や主要原材料価格が高騰	建機の需要は堅調に推移 物流コストや原材料価格高騰が継続 急激な円安が進行	建機の需要は堅調に推移 物流コストや原材料価格高騰の影響、 円安傾向が継続
北米	建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移 海上輸送費や主要原材料価格が高騰	住宅着工件数は減少傾向、 建機の稼働時間と新車需要は 堅調に推移	建機の稼働時間と新車需要は 堅調に推移 物流コスト・ 原材料価格高騰の影響が継続
欧州	建機の稼働時間と新車需要は高い水準で推移 海上輸送費や主要原材料価格が高騰	建機の需要は堅調に推移、 物流コストや 原材料価格高騰が継続	ロシア、ウクライナ情勢の長期化 により需要の見通しは不透明 物流コストや原材料価格高騰の 影響が継続
アジア	COVID-19からの回復が鮮明になり 建機稼働時間が高い水準で推移	建機の需要は堅調に推移 物流コストや 原材料価格高騰が継続	インド、インドネシア中心に 需要は堅調。物流コストや 原材料価格高騰の影響が継続
中国	COVID-19感染拡大を受けた ロックダウンの影響により低迷	COVID-19感染拡大を受けた ロックダウンの影響 経済活動停滞の影響により低迷	市況の低迷継続により 新車の販売台数は前年度を 下回る見通し

- 顧客の生産能力及び調達困難品に影響を受ける可能性はあるが生産計画は高水準
- 堅調な需要を受けて、当社の受注残高も高水準を維持

主要建機メーカー合計生産実績・計画（四半期推移）

※主要6社10社以上



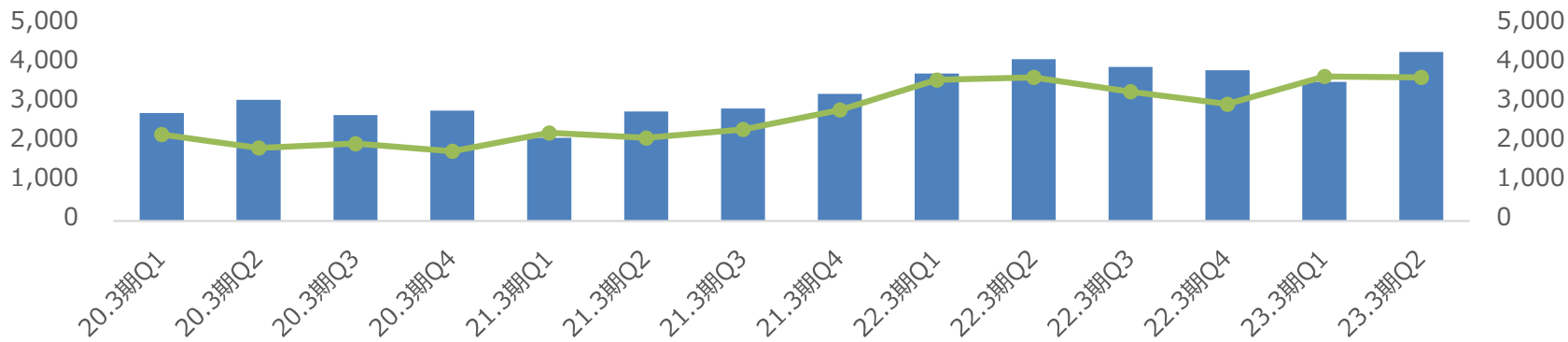
高水準の需要
に連動して
生産計画は堅調

当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）

(単位：百万円)

(単位：百万円)

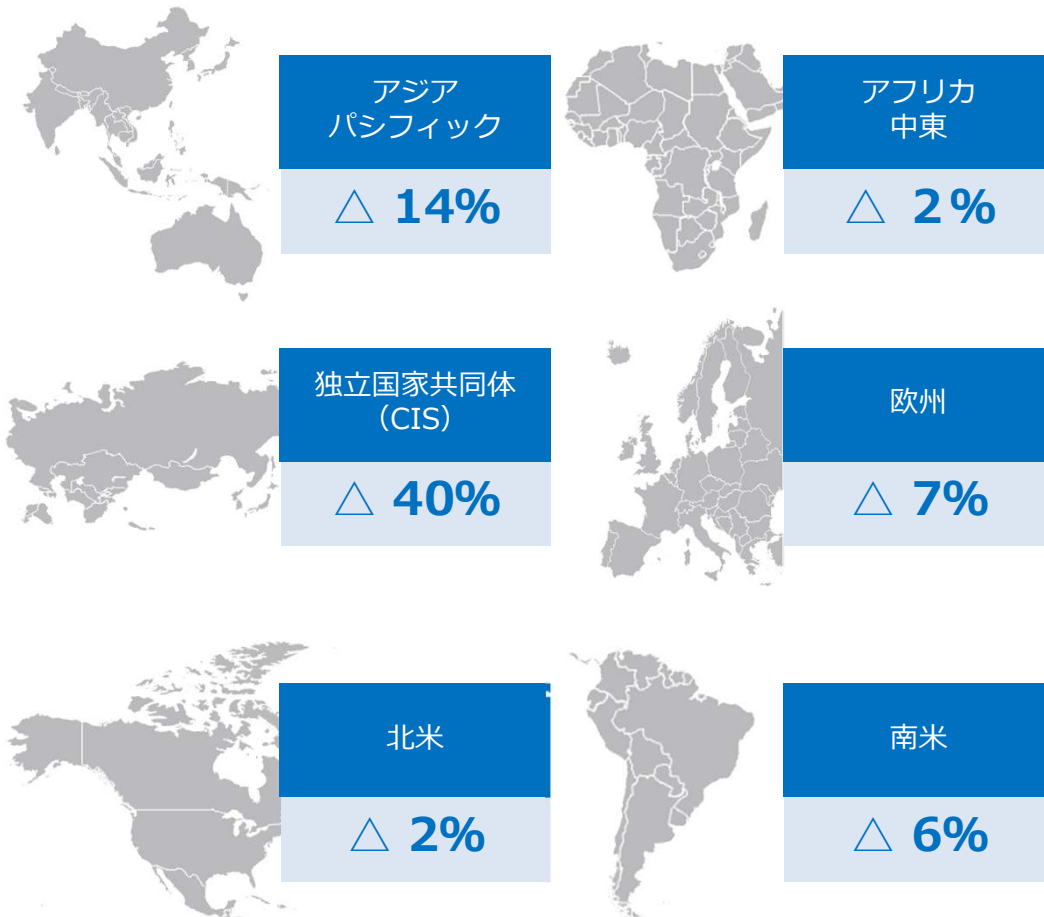
■ 売上高（左軸） ● 受注残高（右軸）



生産計画・補給市場
ともに堅調な需要を
受けて
受注残高は高水準を
維持

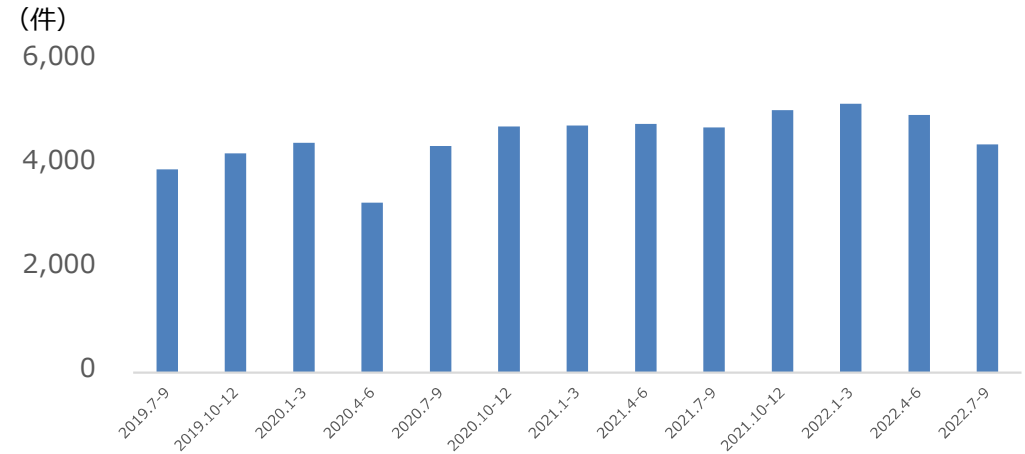
- 前年比はマイナス需要だが、顧客生産能力いっぱいの高水準な需要を維持
- 北米の住宅着工件数は減少するも、住宅在庫は現状も低い水準が継続

地域別 建機需要の動向（指数）



デマンド動向指数（21年対22年予想）

北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

北米市場 総住宅在庫の推移



(TRADINGECONOMICSより引用)

- 建機トランスミッション用フィルタは9割を超えるシェア
- 売上機会を広げる新分野開拓はリリース時期が決定

北米大手建機メーカー様のシェア情報

■ 油圧フィルタシェア

	2021	2022	増減
車両建機	39%	50%	11%
鉱山建機	20%	37%	17%
林業機械	30%	45%	15%

■ TMフィルタシェア

	2021	2022	増減
車両建機	88%	94%	6%
鉱山建機	54%	68%	14%
林業機械	71%	75%	4%

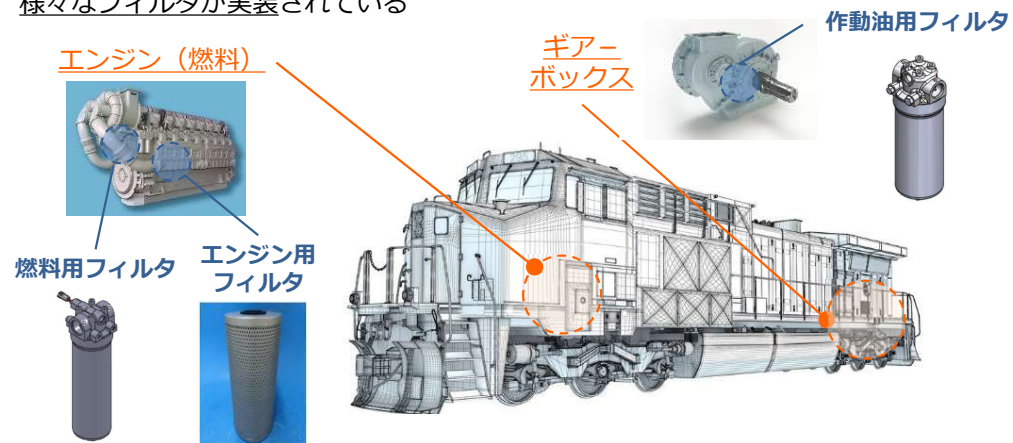
■ その他フィルタシェア

	2021	2022	増減
車両建機	17%	40%	23%
鉱山建機	12%	33%	21%
林業機械	15%	20%	5%

新規分野開拓の進捗

貨物鉄道のフィルタ採用機会は多数存在

貨物鉄道内の各コンポーネント・システムを機能させるため、様々なフィルタが実装されている



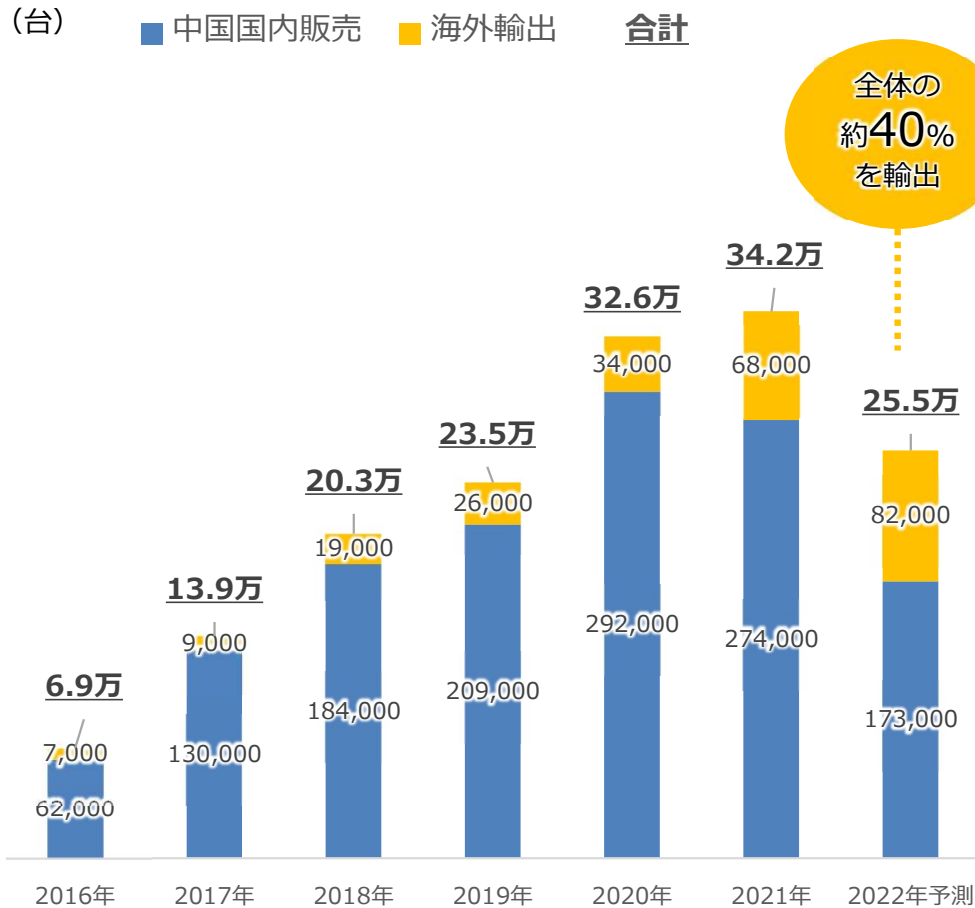
貨物鉄道機種で初の採用獲得

23年4月より供給開始

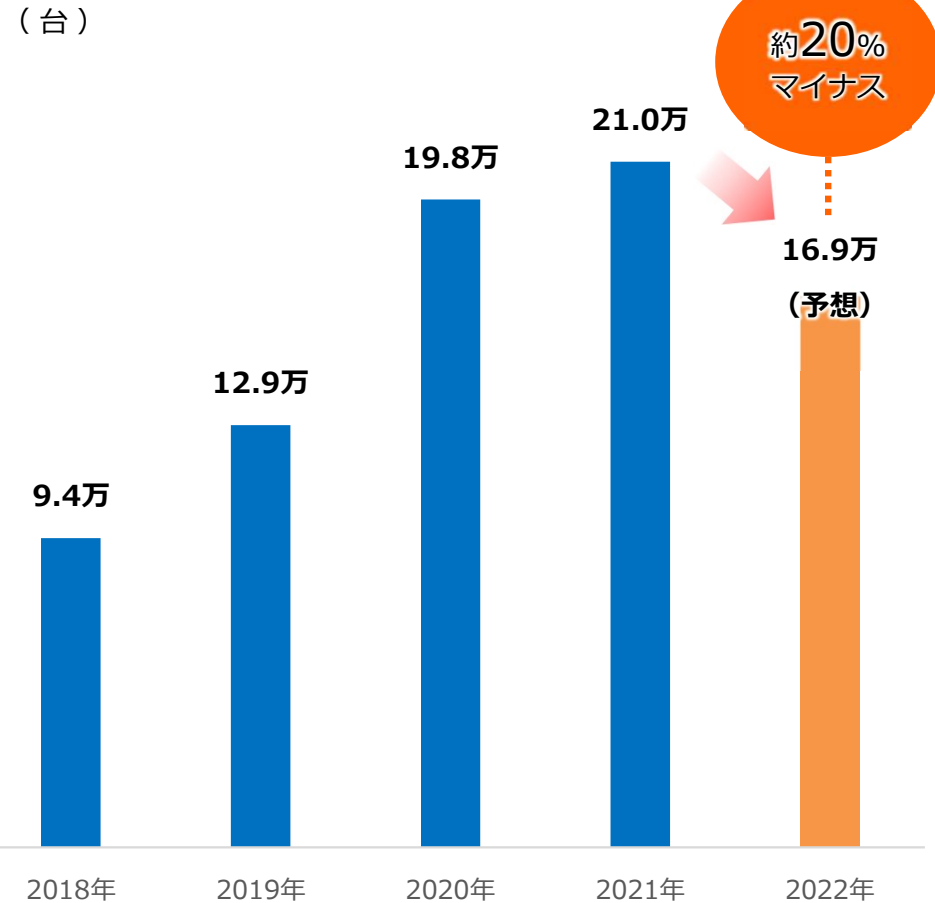
油圧フィルタの裾野は広く、また顧客の手掛ける事業領域も広い。貨物鉄道では**当社の培った燃料や油圧フィルタの技術が評価され**導入が決定。その他にも、農業分野など産業機械に積極的に展開。

- 散発的に発生するロックダウンの影響で、22年は昨年比20%以上の需要減少を見込む
- 成長機会を海外市場に求めて、輸出割合は今後も高まる予想

中国年間販売台数推移

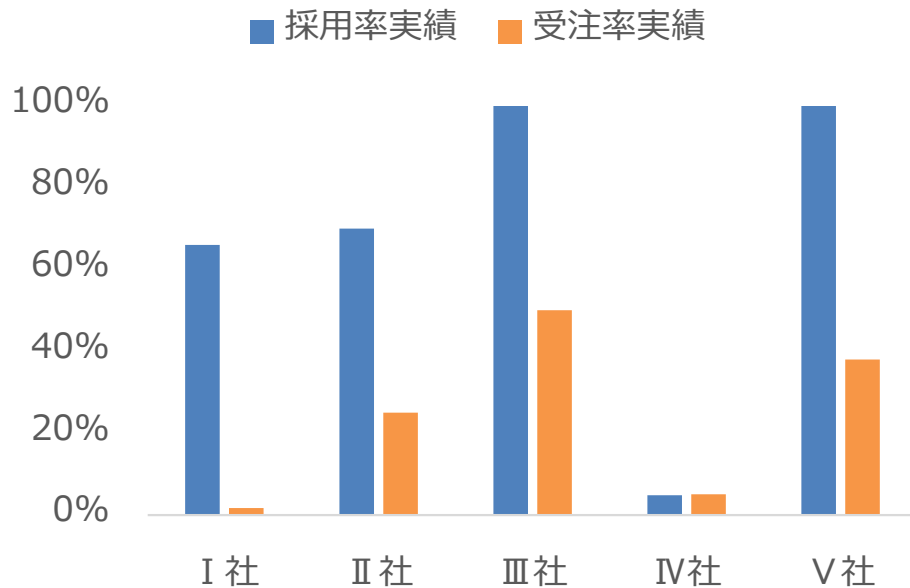


主要中国建機メーカー5社生産台数（計画）

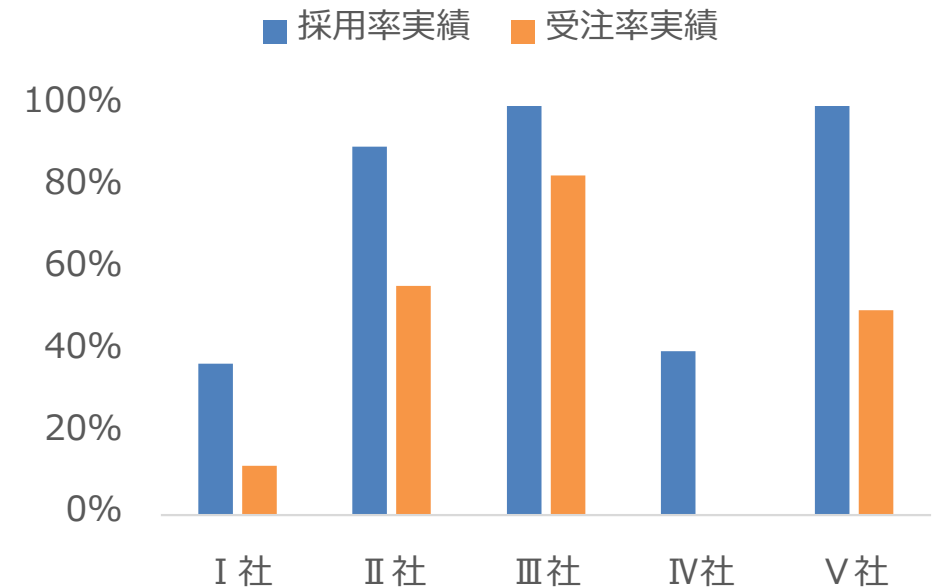


- 22年12月より予定通り排ガス規制は開始される見込み
- 排ガス規制対応機種から採用率・受注率ともに着実に向上する見通し

現行機種の採用率・受注率



新機種の採用率・受注率



排ガス規制の概要

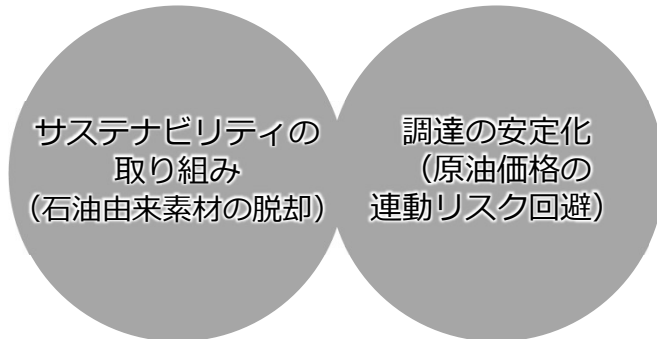


22年12月より 排ガス規制 開始

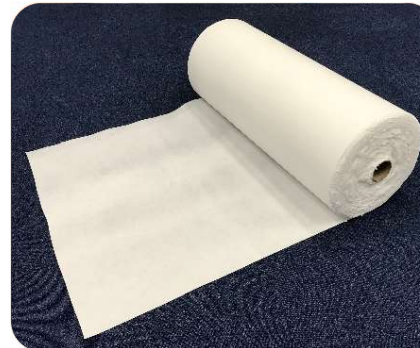
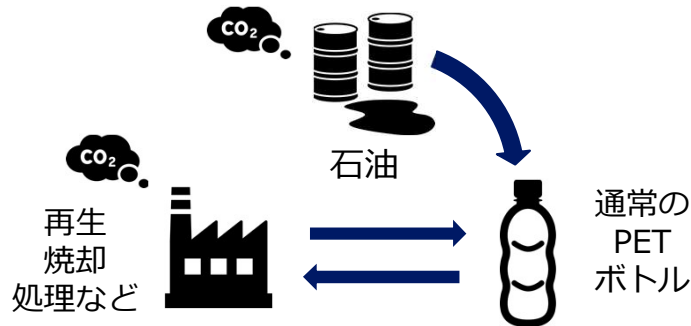
- 現行の第3次排ガス規制から規制値が厳しくなり、現在の欧米排ガス規制と同レベルに
- 対象は12月1日以降に販売される、ショベル/ホイールローダ/ブルドーザー/アスファルト舗装機/フォークリフト等
- エンジンを搭載した機械側には、位置情報の提供を可能とする遠隔監視関連の事項が追加された。

- 従来の石油由来のPET樹脂から、バイオマスPETの濾材開発が実用段階まで進捗
- 今後は環境負荷の低い、生分解性素材の導入に向けて研究開発を引き続き実施
- 環境意識の高い顧客に対して、積極的に提案を開始

取り組むべき課題

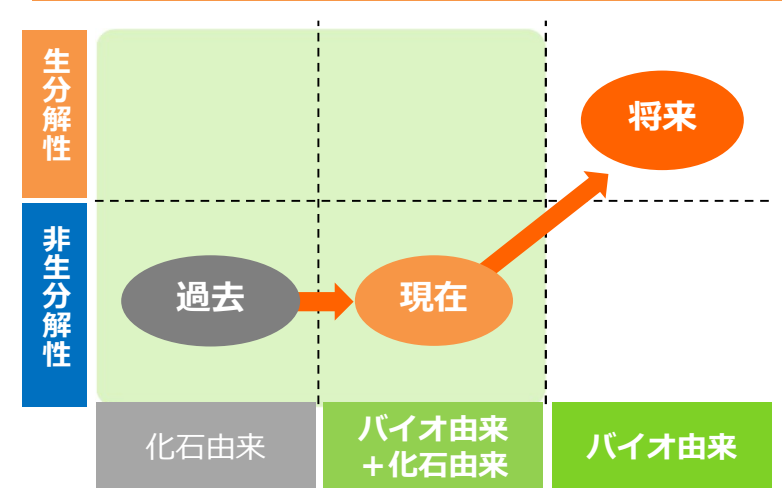


石油由来のPET樹脂 製造プロセス

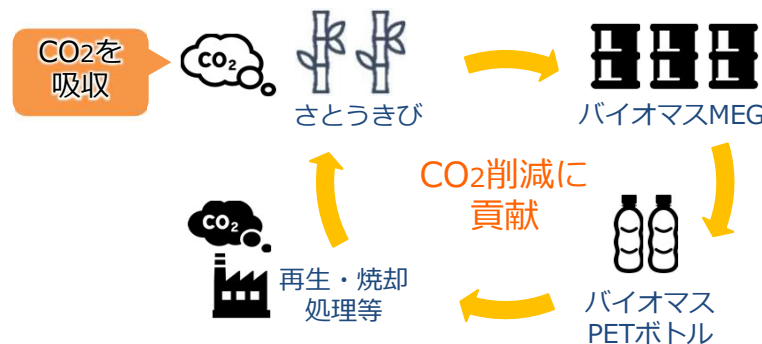


バイオマスPETの試作品

素材開発の方向性



バイオマスPET樹脂の製造プロセス



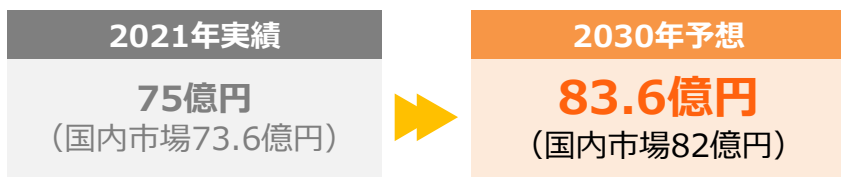
従来の石油由来のPET樹脂から、バイオマスを使用したPETの濾材開発が実用段階まで進捗。今後も研究開発を継続し、CO2の排出削減と化石資源への依存低減に向けた循環型素材の確立を目指す。

“エアフィルタ市場を取り巻く環境”

- 多品種・短納期・小ロットのオーダーメイド対応力により、プレフィルタ・中高性能フィルタで市場シェア上位を獲得
- エアフィルタ販売代理店を広くカバーし、様々なルートで当社製品を販売可能

エアフィルタ市場の成長率

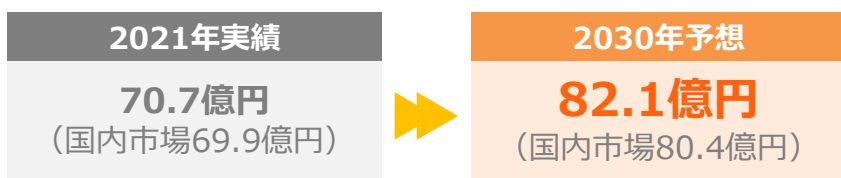
プレフィルタ※（ビル空調など）



**CAGR
1.2%**

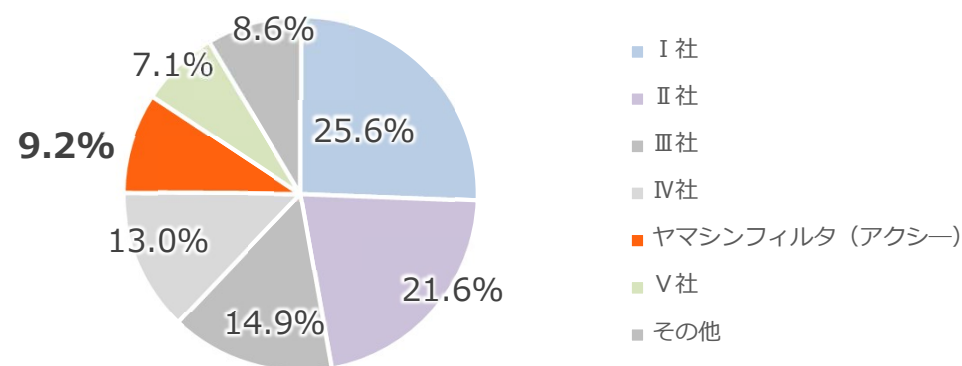
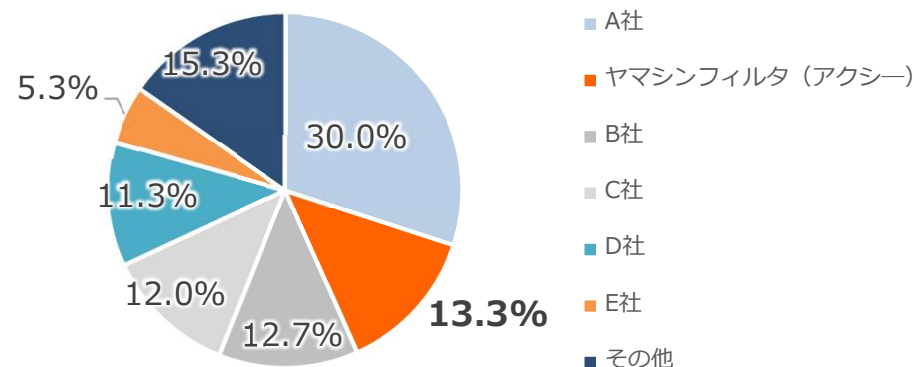
※粗塵フィルタ

中・高性能フィルタ（大規模ビル空調など）



**CAGR
1.7%**

各セグメントのシェア（2021年実績）



出典：富士経済
「高機能分離膜/フィルター関連技術・市場の全貌と将来予測 2022」
※市場規模・円グラフともに、国内市場+日系メーカーの海外売上

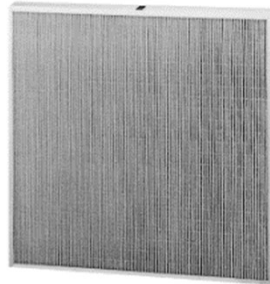
- 主力市場であるビル・建物市場ではコロナ渦の影響は限定的で、需要は前期横這いを見込む
- 各種コストの高騰を受けて、メンテナンスコストの抑制ニーズが高まる

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	都市部のリピート案件は安定的に受注も、新規案件は動きが鈍い。	小型物件や地方物件は延期があるものの、大型物件を中心に全国的に回復基調
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	大規模改修の動きは鈍いが必要な設備投資には前向きな動き。	小型物件を中心に緩やかな回復基調
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	引き続き設備投資が好調。	引き続き設備投資が良好に推移もやや頭打ち。
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	住宅関連はウッドショックの影響が続くも持ち直し傾向。	ウッドショックの影響はほぼ消えた。3Q後半での受注増も見られ回復基調。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	建機用フィルタは堅調。 鉄道用は計画通り受注。	鉄道は横ばい。建機用フィルタは受注調整による予定の見直しはあるものの回復傾向

- フィルタ性能・環境対応性で高い評価を獲得
- MERV14規格の信頼性と日本メーカーの取得希少性が高い競争力になる

新製品 NanoWHELP®

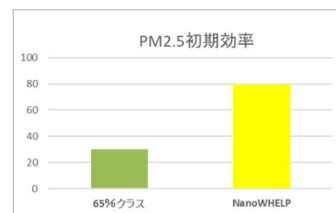
世界初ナノフィルタ製
エアフィルタ



製品特徴

- ヤマシン・ナノフィルタ®の性能を活かし、**持続的な低圧損を実現**
- 日本メーカーの中高性能フィルタで唯一、ビル空調最高レベルの**MERV14を取得済**
- 高性能に加え、**CO₂削減にも効果的**
- **CO₂ 22%削減（当社比）**

PM2.5の捕集効率96%
初期効率80%以上



新規導入の状況



千葉県K病院において
全館の外気取り入れフィルタを
NanoWHELP®95に変更

お客様の課題

高浄度のHEPAフィルタ
を採用

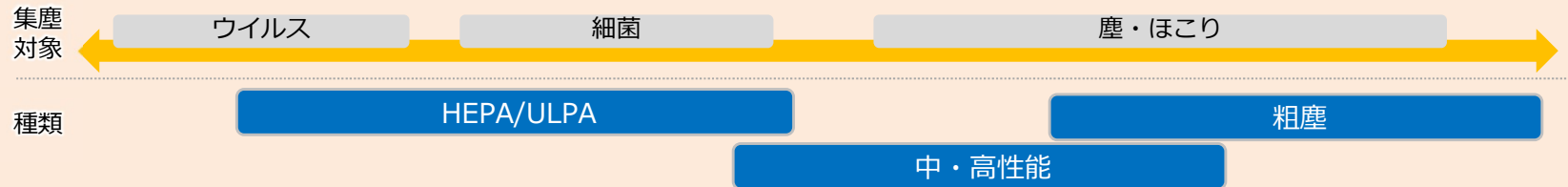
- 換気風量が不十分
- コストが割高

当社製品によるソリューション

最も高い清浄度が求められる
手術室においても
中性能フィルタである
NanoWHELP®は
清浄度・換気風量ともにクリア

中・高性能フィルタ製品群で十分に充足する施設は多数存在
性能とコストのバランスを鑑みた提案活動を継続的に実施

- 独自開発による市場唯一のナノファイバーろ材を用いたNanoWHELP®シリーズの拡大
- ユーザーへの直接販路開拓でよりニーズに沿った製品の展開



YAMASHIN Nano Filter™

独自開発素材である
ヤマシン・ナノフィルタ®を
起点に各製品群に展開

Merv 16

Semi HEPA

特徴

高い清浄度が求められる製品群

市場：中
施設（製品）：
ミスト・工作機械向け
販売数量：中

主力製品

NanoWHELP®65



特徴

中高性能市場における
当社のベース製品

市場：大きい
施設：大規模施設向け
販売数量：多い

Merv 17

HEPA

特徴

特に高い清浄度が求められる
市場：限定的
施設：製薬・半導体製造のク
リーンルームなど
販売数量：少

Merv 14-15

NanoWHELP® 95・98・99

特徴

中高性能市場に新たな価値を提供する、
高清浄度向けの製品群
市場：中
施設：データセンター・病院・公的施設・塩害対
策が求められる施設など

未来

Ⅲ 今後の戦略

SUSTAINABLE DEVELOPMENT **GOALS**

企業活動を通じたSDGsの達成への貢献

ESG経営の実践

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

提言への賛同

環境

空気

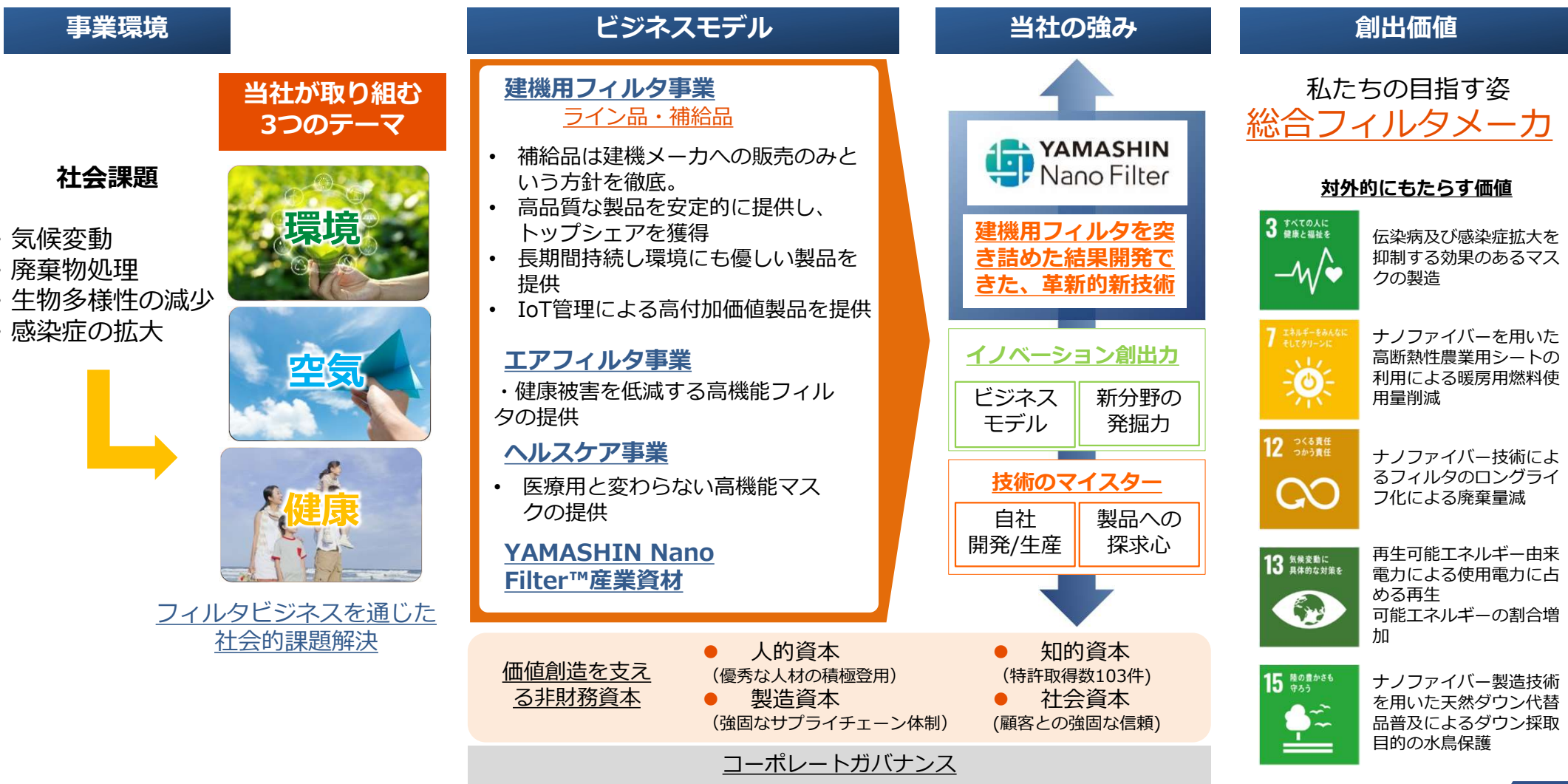
健康

仕濾過事

ろかじにつかふる

- フィルタ製造を行う上場企業として社会への責任を果たし、持続的な価値を提供する

経営理念：「仕濾過事」（ろかじにつかふる）の具現化



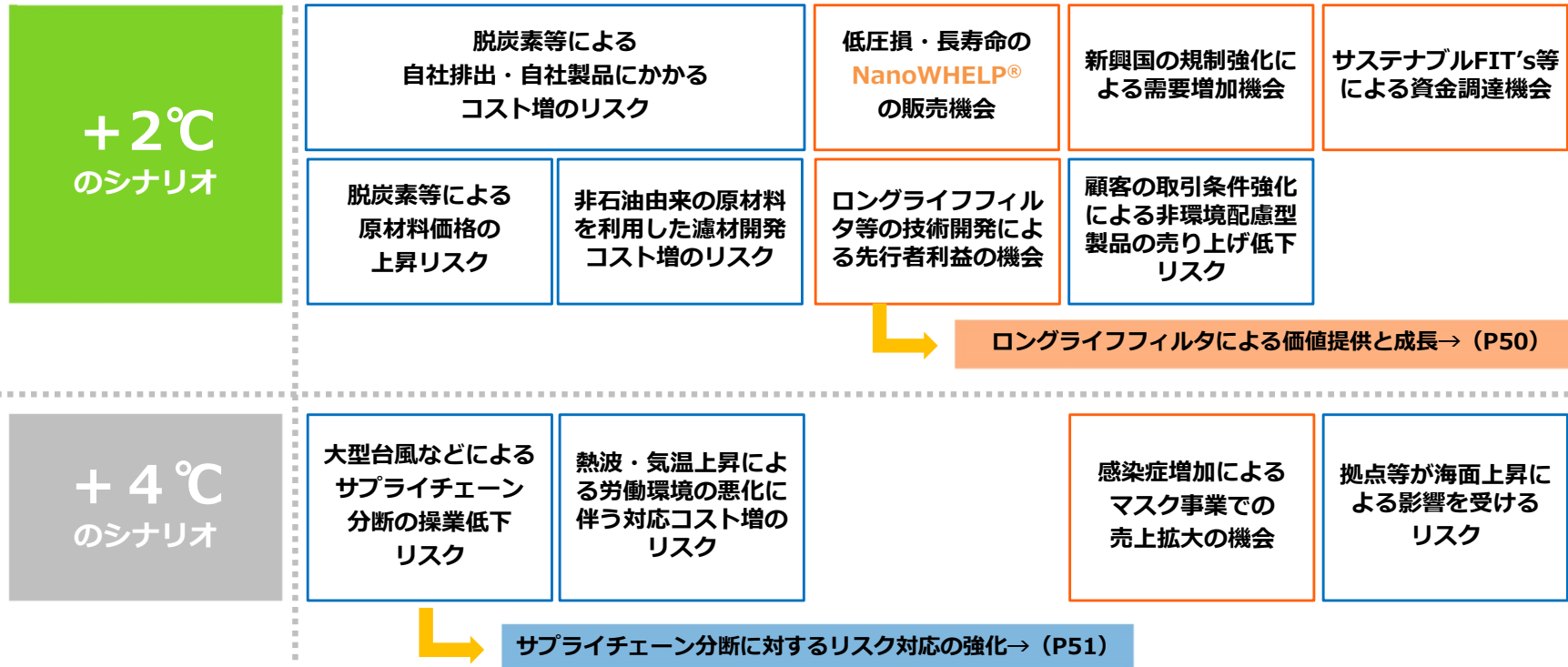
- 事業に影響を与える可能性が特に高い「環境」に関しては、温暖化シナリオごとに想定されるリスクと機会を設定、中長期的な戦略方針として織り込み各種施策へ展開

気候変動への対策方針

- TCFD提言への対応を通じた取り組み促進
- 再生可能エネルギー由来電力導入拡大

原材料調達	フィルタ生産	顧客製品への取り組み	市場・エンドユーザ	本社・管理
フィルタ製品の原材料の6割はアルミニウム・鋼鉄など石油由来	国内：佐賀工場 フィリピン：セブ工場が生産拠点	建機用フィルタ エアフィルタ	建設機械 産業用・建物用 ヘルスケア・マスク	企業経営 事業管理

温暖化シナリオ



- ロングライフ化を早くから取り組んできた優位性を活かし、環境対応型製品の販売を強化、当社ならではの価値を提供することで機会獲得を目指す。

ロングライフフィルタ等
技術開発による
先行者利益の機会



- 温室効果ガス削減基準に対応した製品の供給
- 化石燃料の使用が少ない製品の提供
- ロングライフにより交換機会の減少

ロングライフのための施策の方向性

ヤマシナノフィルタ®



売上単価は既存製品の
約2倍
中長期的な収益の柱に成長



環境配慮型
ろ材製品

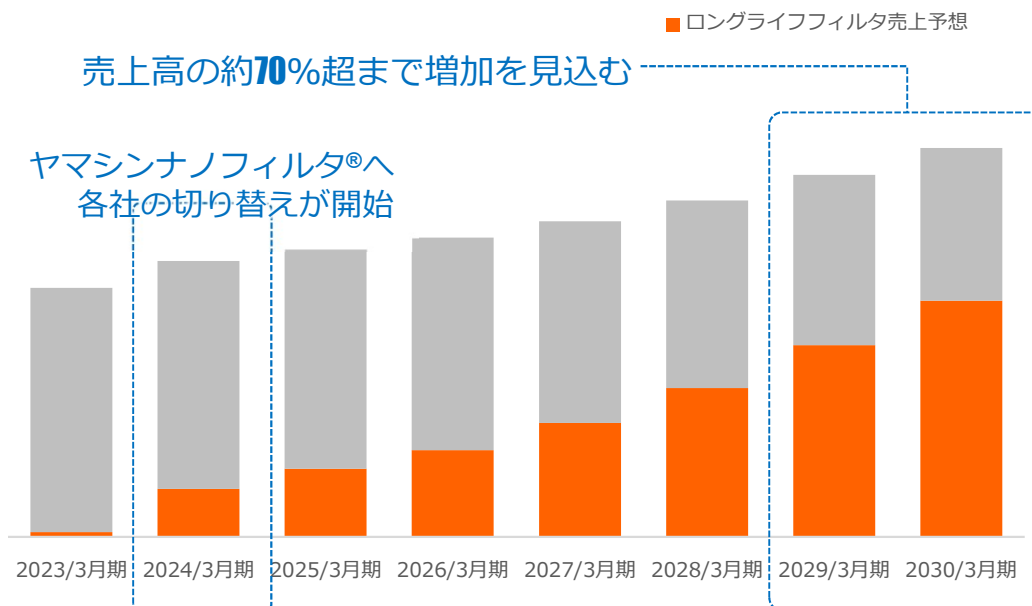
Iotセンサ

フィルタ寿命や作動油の汚染度をセンサで測定。フィルタのロングライフ化に貢献するとともに次世代油圧システムの電子制御化に重要な役割



サポート
製品の充実
油圧システムの
電子制御化
を見据える

ヤマシナノフィルタ製のフィルタの売上予想



●ベトナム新工場の稼働により操業低下リスクが大幅に低減

大型台風などによる
サプライチェーン分断の
操業低下リスク

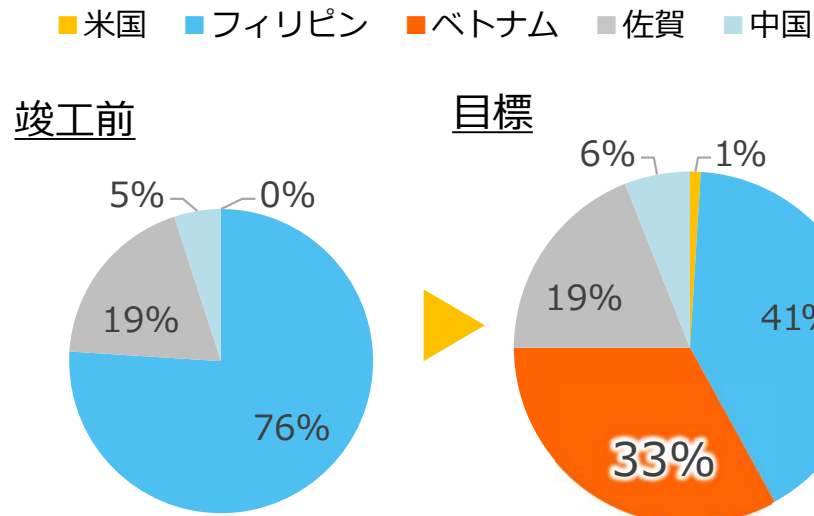


- 気候変動リスクを鑑みたマルチプル生産体制への移行
- 現地での部品調達率の向上
- カントリーリスクの分散

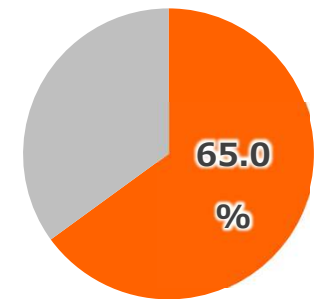
サプライチェーンの強化

ベトナム新工場が竣工

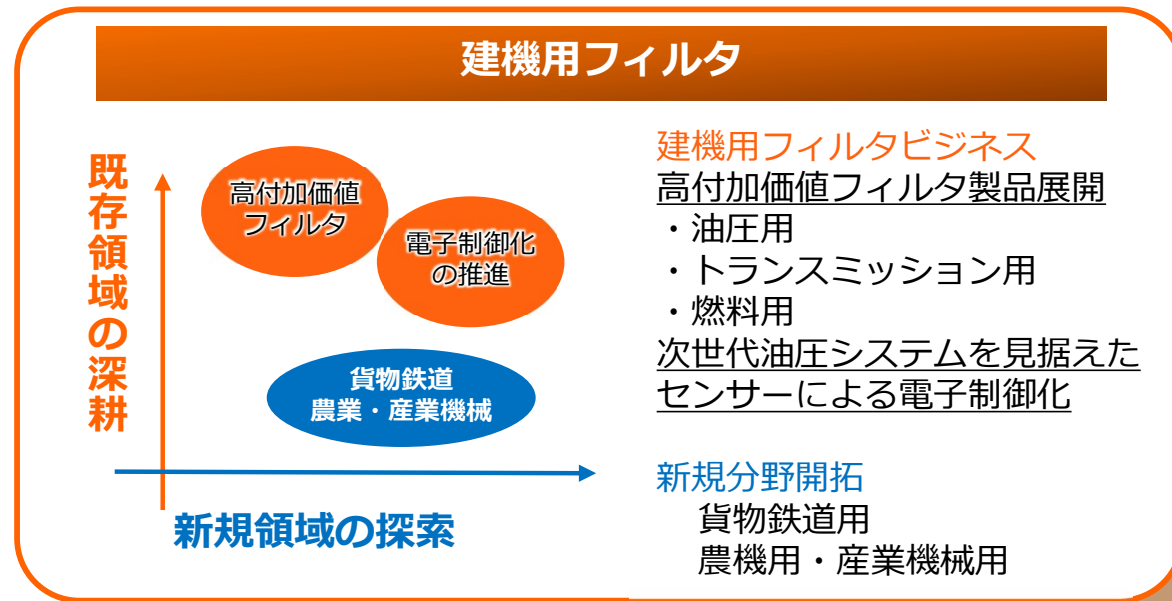
一極集中生産体制からマルチプル生産体制への移行によるリスクヘッジ、材料の現地調達率が向上することにより顧客要望により柔軟な対応が可能に



ベトナムにおける 部品調達率



2023年3月期



濾材開発

ロングライフ/ 環境配慮型素材開発

- 石油由来のPET樹脂
- バイオマスPETろ材開発
- 生分解性素材開発
- リサイクル循環

新規事業領域

YAMASHIN Nano Filter® を応用した新素材領域への進出



導電性素材	バイオマス 素材
シート素材	新・耐熱素材

M&A

ろ材

エアフィルタ

営業戦略の強化



株式会社アキュー



代理店ビジネス（多品種/小ロット）

- ・ビル空調用
（プレフィルタ・中高性能フィルタ）
- 直接販売（高潔浄度 HAPA/ULPA）

NanoWHELP®



オフィス



病院



空港













商業施設

目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始しております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2023年3月期業績予想
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		

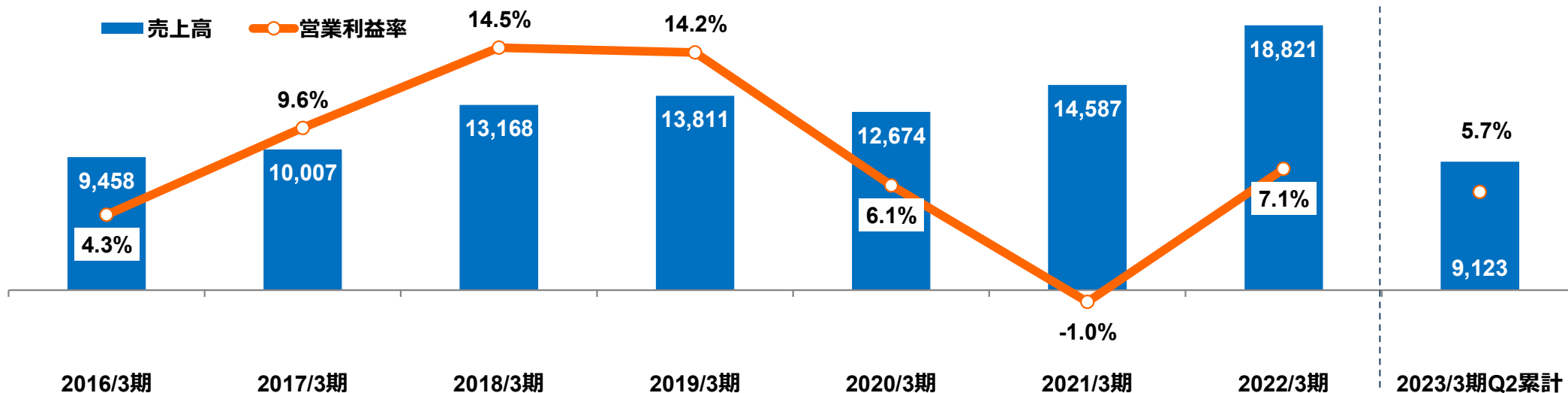
決算

参考資料

②財務ハイライト

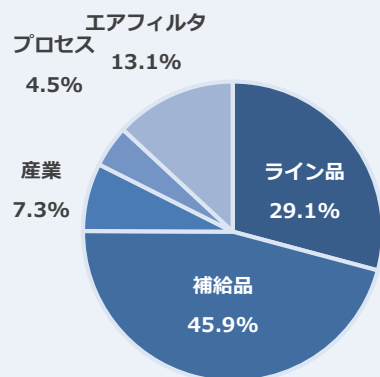
売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)

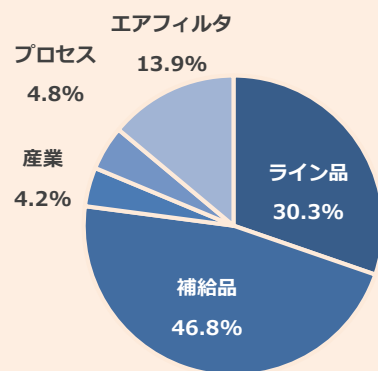


製品別売上高

2022/3期Q2累計

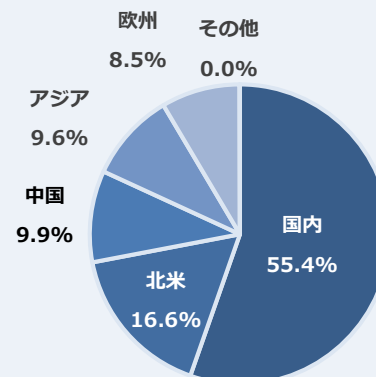


2023/3期Q2累計

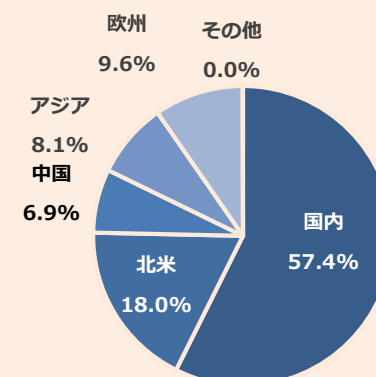


地域別売上高

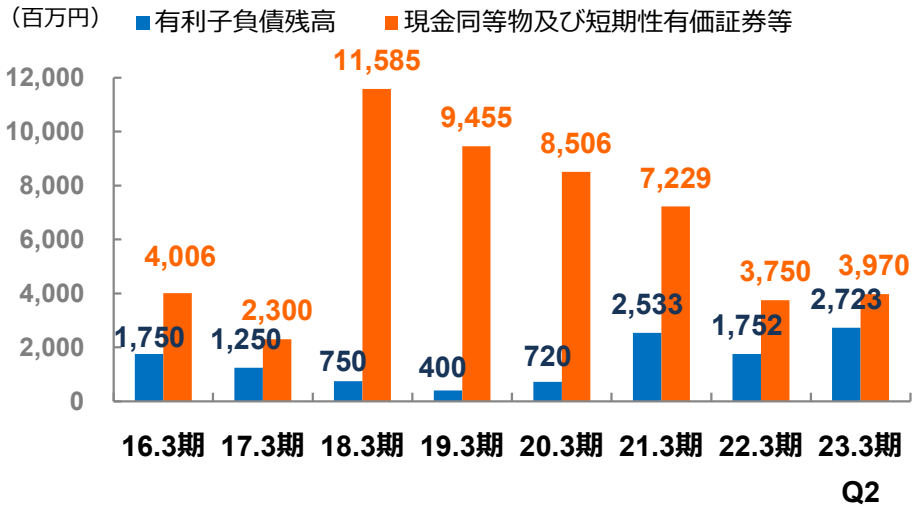
2022/3期Q2累計



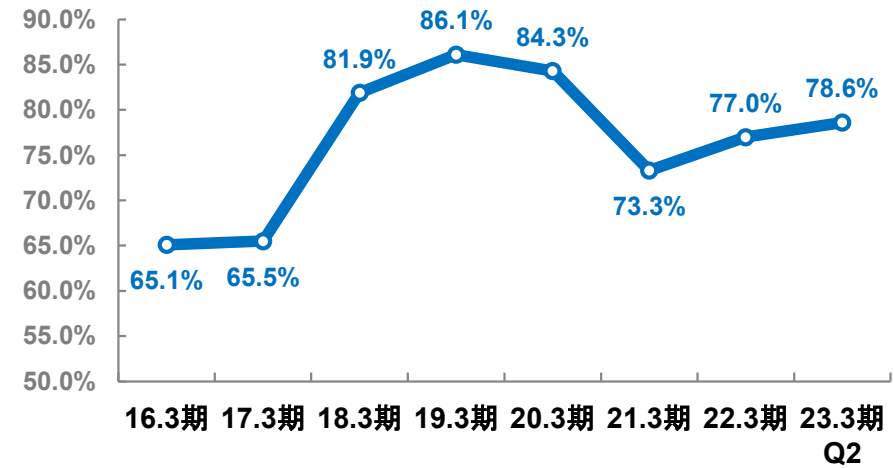
2023/3期Q2累計



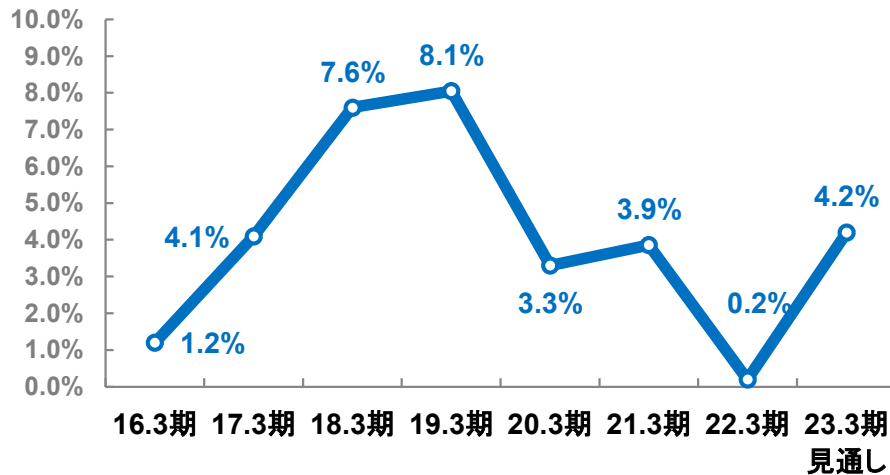
有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



株主資本比率

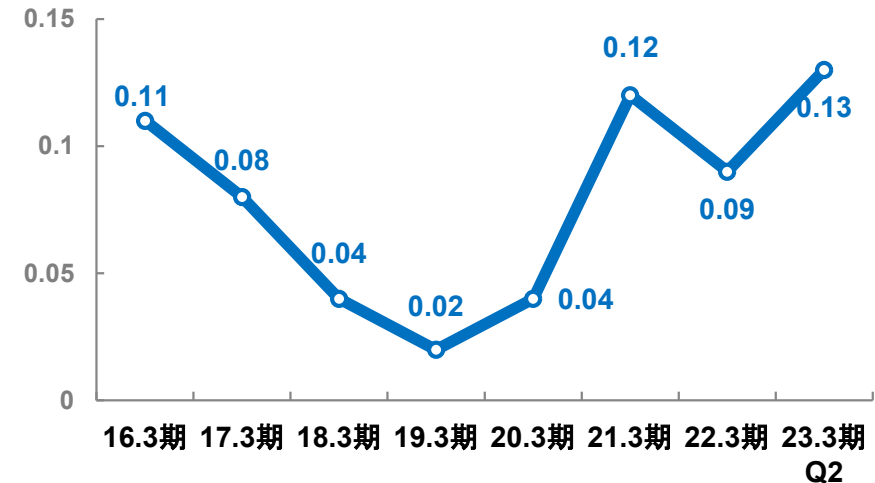


ROE



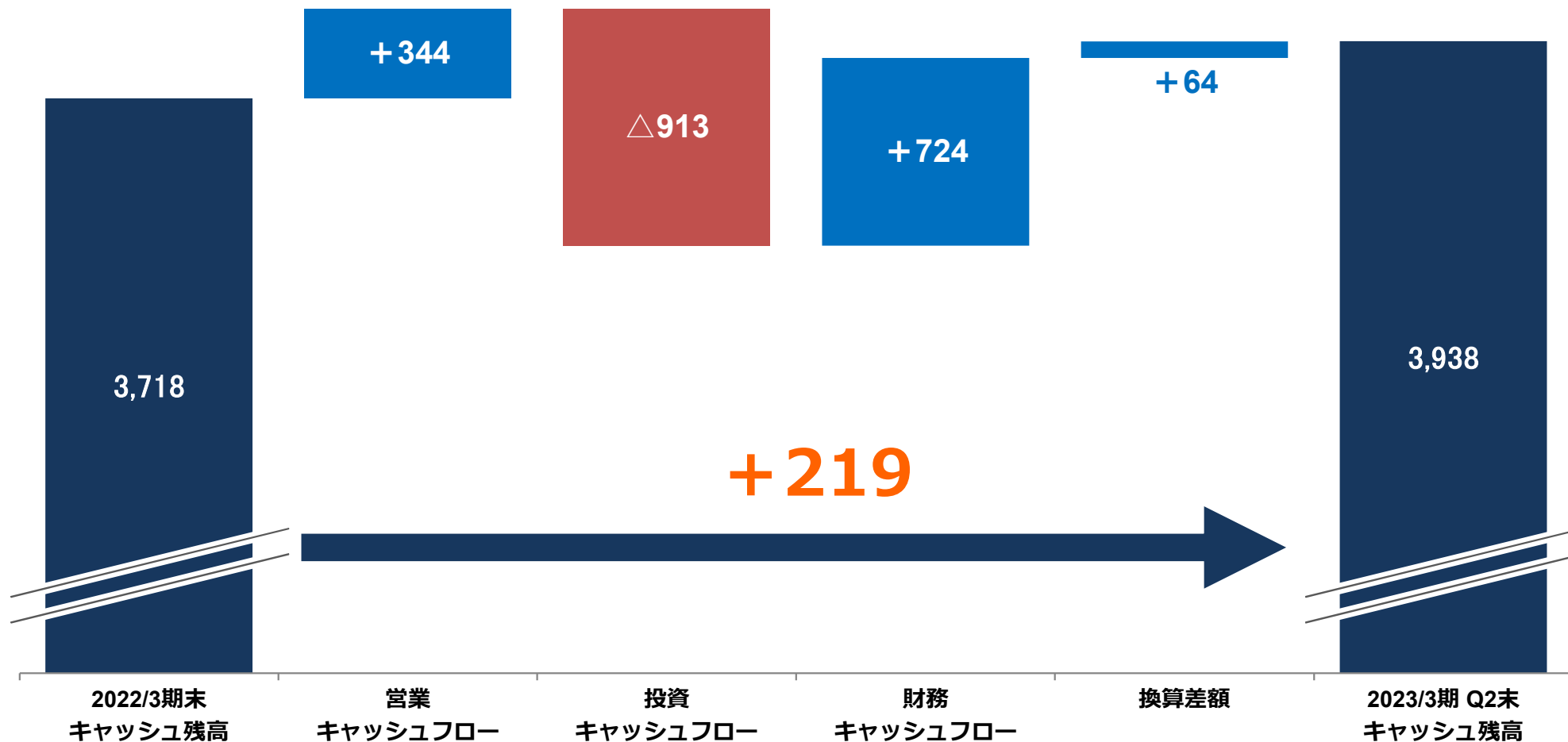
※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

(単位：百万円)



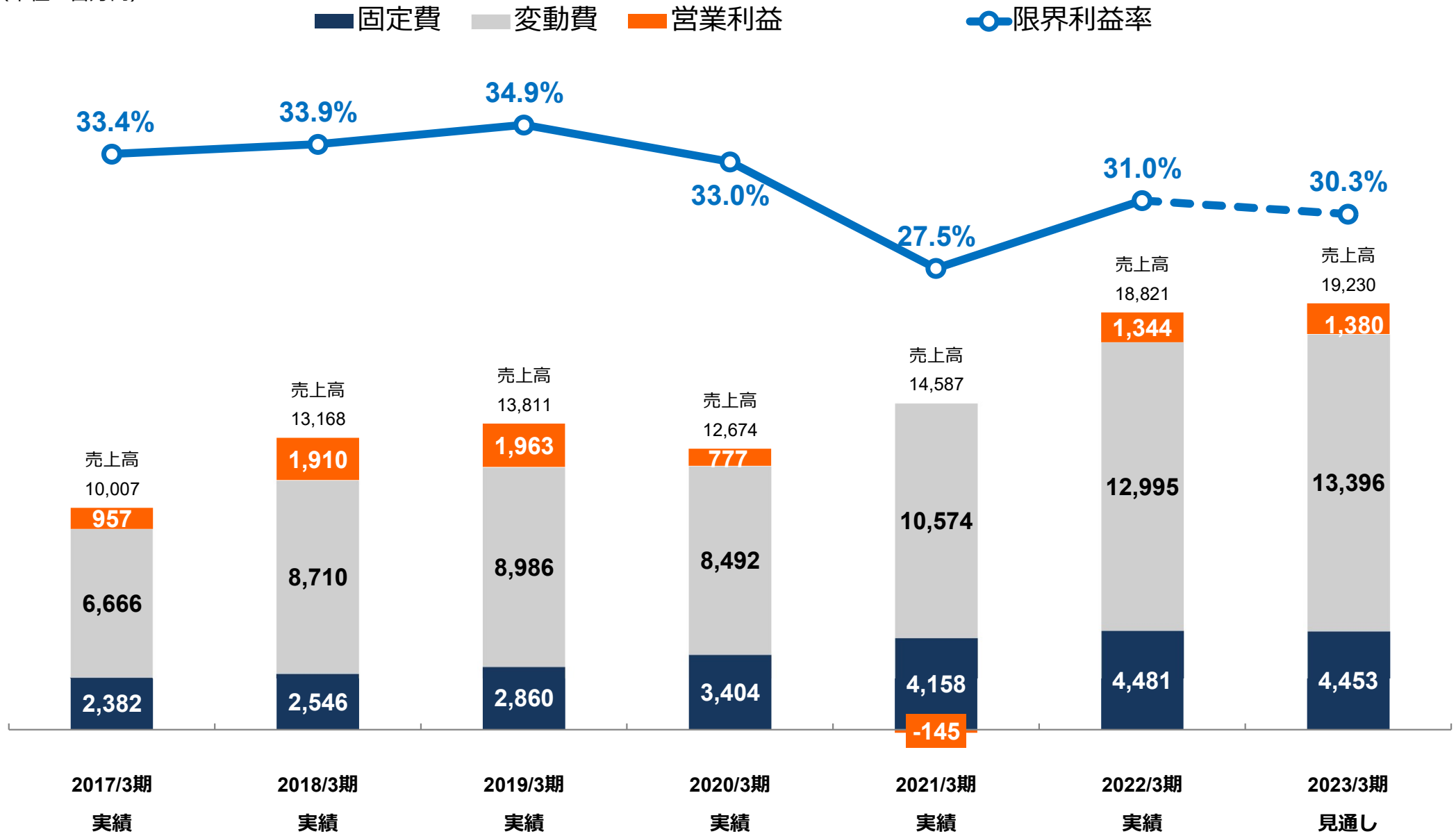
※1年未満に満期が到来する長期性預金(2022/3月期末 32百万円・2023/3月期 Q2末 32百万円)については現金及び現金同等物の期末残高に含めておりません。

為替マリーの状況 (2022/4-9)

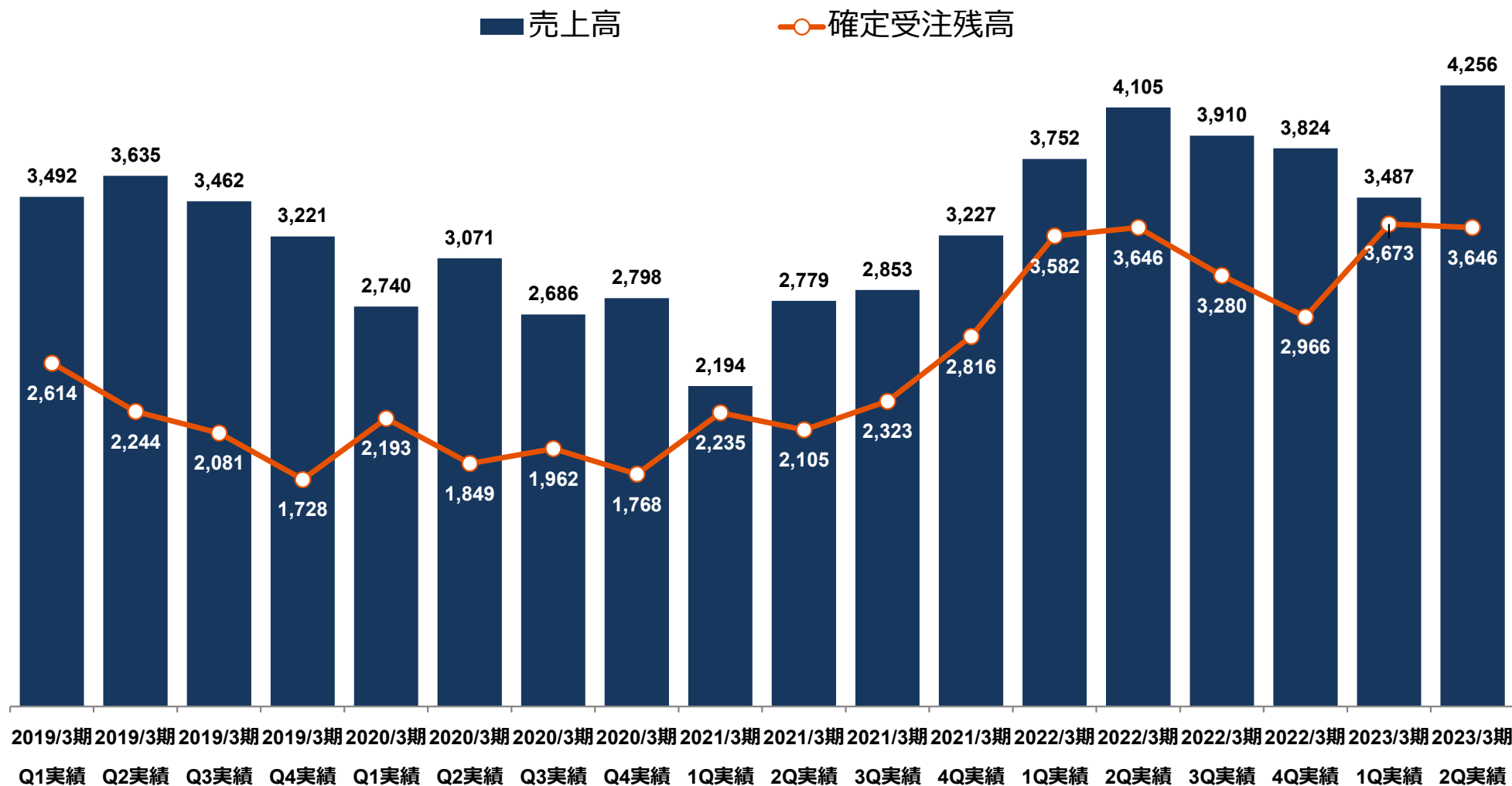
(単位：百万)

Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート △10%(JPY)	レート差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10%(JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥9,700	66%	¥9,100	58%	¥600	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$31.1	28%	\$39.7	34%	\$△8.6	¥134.0	¥120.58	¥△13.40	¥115.22	¥147.38	¥13.40	¥△115.22
EUR	€3.8	4%	€2.4	2%	€1.4	¥138.7	¥124.87	¥△13.9	¥△19.42	¥152.61	¥13.87	¥19.42
PHP	PP0.0	0%	PP291.4	5%	PP△291.4	¥2.5	¥2.21	¥△0.2	¥71.68	¥2.71	¥0.25	¥△71.68
THB	฿60.90	2%	฿21.00	1%	฿39.90	¥3.8	¥3.41	¥△0.4	¥△15.12	¥4.17	¥0.38	¥15.12
VND	0.00 đ	0%	228.40 đ	1%	△228.40 đ	¥0.6	¥0.52	¥△0.1	¥13.13	¥0.63	¥0.06	¥△13.13
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥165.49	-	-	¥△165.49

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※ 売上高はヘルスケア売上を含めておりません。



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp